

# 2023年3月期 第3四半期 決算説明会

2023年2月7日

## 免責事項

本資料は、ソフトバンクグループ株式会社(以下「SBG」)及びその子会社(Arm Limitedを含み、以下SBGと併せて「当社」)並びに関連会社(以下当社と併せて「当社グループ」)に関する関連情報を提供するものであり、すべての法域において、いかなる証券の購入又は応募の申込みを含む、いかなる投資勧誘を構成又は形成するものではありません。

本資料には、当社グループの推定、予測、目標及び計画を含む当社グループの将来の事業、将来のポジション及び業績に関する記述など当社グループの将来の見通しに関する記述、見解又は意見が含まれています。将来の見通しに関する記述には、特段の限定を付すことなく、「目標とする」、「計画する」、「確信する」、「希望する」、「継続する」、「期待する」、「目的とする」、「意図する」、「だろう」、「かもしれない」、「であるべきである」、「したであろう」、「できた」、「予想する」、「推定する」、「企図する」若しくは類似する内容の用語若しくは言い回し又はその否定形などが含まれています。本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、当社グループが本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた、当社グループの現在の前提及び見解に基づくものです。これら将来の見通しに関する記述は、当社グループのメンバー又はその経営陣による将来の業績を保証するものではなく、当社グループのビジネスモデルの成功、当社グループの資金調達力及びその資金調達条件の影響、SBGの重要な経営陣に関するリスク、当社グループの投資活動に関する又はこれに影響を与えるリスク、SBファンド(下記で別途定義)並びにその投資、投資家及び投資先に関するリスク、ソフトバンク株式会社及びその事業の成功に関するリスク、法令・規制・制度などに関するリスク、知的財産権に関するリスク、並びに訴訟を含むこれらに限られない既知及び未知のリスク、不確実性その他要因を含み、これらの要因により、実際の当社グループの実績、業績、成果又は財務状態は、将来の見通しに関する記述において明示又は黙示されている将来の実績、業績、成果又は財務状態と著しく異なる可能性があります。当社グループの実績、業績、成果又は財務状態に影響を与える可能性のあるこれら及びその他の要因については、SBGのホームページの「事業等のリスク」([https://group.softbank/ir/investors/management\\_policy/risk\\_factor](https://group.softbank/ir/investors/management_policy/risk_factor))をご参照下さい。当社グループ及びその経営陣は、これら将来の見通しに関する記述に明示されている予想が正しいものであることを保証するものではなく、実績、業績、成果又は財務状態は、予想と著しく異なる可能性があります。本資料を閲覧する者は、将来の見通しに関する記述に過度に依拠してはなりません。当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社グループの将来の実績の予測若しくは予想の指標となるものではなく、又はこれを推定するものでもありません。

本資料に記載されている当社グループ以外の企業(SBファンドの投資先を含みますが、これに限られません。)に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、情報の正確性又は完全性について保証するものではありません。

本資料には、Arm Limitedに関する記述が含まれています。これらの記述は、SBGの株主への情報提供のみを目的としたものであり、Arm Limitedが発行するあらゆる有価証券の販売又は購入の勧誘を目的としたものではありませんし、そのように解釈されるべきではありません。

## 商標について

本資料に記載されている企業、製品及びサービスの名称は、各企業の商標又は登録商標です。

## 重要なお知らせ—SBGの普通株式の取引、スポンサーなしADR(米国預託証券)に関する免責事項

SBGの普通株式の売買を希望する場合には、当該普通株式が上場され、主に取引が行われている東京証券取引所において売買を行うことを推奨します。SBGの開示は、スポンサーなしADR(以下「ADR」)の取引の促進を意図するものではなく、ADRの取引判断を行う際にこれに依拠すべきではありません。SBGは、SBGの普通株式に関するスポンサーなしADRプログラムの設立又はそれに基づき発行されるADRの発行若しくは取引について、過去及び現在において、参加、支援、推奨その他同意を行ったことはありません。SBGは、ADR保有者、銀行又は預託機関に対して、(i)SBGが1934年米国証券取引所法(以下「証券取引所法」)で定めるところの報告義務を負うこと、又は、(ii)SBGのホームページに、SBGが証券取引所法ルール12g3-2(b)に従って証券取引所法に基づくSBGの普通株式の登録の免除を維持するために必要な全ての情報が継続的に掲載されることを表明するものではなく、また、当該者又は機関は、そのように信じてはなりません。適用ある法が許容する最大限の範囲において、SBG及び当社グループは、SBGの普通株式を表象するスポンサーなしADRIに関連して、ADR保有者、銀行、預託機関その他企業又は個人に対するいかなる義務又は責任を否認します。

上記の免責事項は、ソフトバンク株式会社やZホールディングス株式会社などの、スポンサーなしADRプログラムの対象であるか又は将来対象となる可能性のある当社グループの証券に同様に適用されます。

## 本資料に記載されるファンド情報に関するお知らせ

本資料は、情報提供を目的として提供されるものであり、法律上、税務上、投資上、会計上その他の助言又はSB Global Advisers Limited(以下「SBGA」)、SB Investment Advisers (UK) Limited(以下「SBIA」)及びそれらの関係会社を含むSBGの子会社(以下併せて「SBファンド運用会社」)により運用されるいずれかのファンド(文脈に応じて、パラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて「SBファンド」)のリミテッド・パートナーシップ持分又は同等の有限責任持分の販売の申込み又は申込みの勧誘を行うものではなく、また、いかなる方法でもそのように依拠してはなりません。疑義を避けるために付言すると、SBファンドは、他のファンド同様、SBIAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund L.P.(文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド1」)、SBGAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund II-2 L.P.(文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド2」)及びSBGAとその関係会社によって運用されているSBLA Latin America Fund LLC(文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ラテンアメリカ・ファンド」)を含みます。

SBファンド(ビジョン・ファンド1及びビジョン・ファンド2並びにラテンアメリカ・ファンドを含む)、SBファンド運用会社、SBファンド運用会社により運用される後続又は将来のファンド、SBG又はそれぞれの関係会社のいずれも、本資料に記載されている情報の正確性又は完全性について、明示又は黙示であるとかかわらずこれを表明又は保証するものではなく、また、本資料に記載されているパフォーマンスに関する情報はSBファンドその他本資料に言及される企業の過去若しくは将来のパフォーマンス又はSBファンド運用会社により運用される後続ファンド、将来組成されるファンドの将来のパフォーマンスについての確約又は表明として依拠してはなりません。

SBファンドその他本資料に言及される企業のパフォーマンスに関する情報は、背景説明のみを目的として記載されるものであり、関連するSBファンド、本資料に言及されるその他のファンド又はSBファンド運用会社により将来運用されるファンドの将来のパフォーマンスを示すものとして考慮されるべきではありません。SBファンドの特定の投資対象に関する情報への言及は、それに含まれる範囲において、関連するSBファンド運用会社の投資プロセス及び運用方針を説明することのみを目的として述べられたものであり、特定の投資対象又は証券の推奨として解釈してはなりません。SBファンドのパフォーマンスは各個別の投資においてそれぞれ異なる可能性があり、個別に言及した取引のパフォーマンスは、必ずしも全ての適用される従前の投資のパフォーマンスを示唆するものではありません。本資料において記載及び説明される特定の投資は、関連するSBファンド運用会社が行う全ての投資を示すものではなく、本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むと仮定すべきではありません。

本資料に記載されるSBファンドのパフォーマンスは、ポートフォリオ投資の未実現の評価額に基づくものです。未実現の投資評価額は、関連するSBファンド運用会社がそれぞれ特定の投資に関する状況に基づき合理的とみなす前提及び要因(例えば、評価日現在における類似の会社の平均株価収益率その他勘案事項等を含みます。)に基づくものです。しかしながら、未実現の投資評価額は本資料に記載されている金額又は本資料に記載されているリターンを算定するために用いられる金額で実現されるという保証はありません。また、かかる実現に関する取引費用が未知であるため、当該取引費用は、かかる算定に含まれません。未実現額の見積りは、常に変化する多くの不確定要素の影響を受けます。関連するSBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、いくつか要因がある中で特に、将来の運用実績、処分時の資産価格及び市況、関連する取引費用並びに売却の時期及び方法によって決まるものであり、これらの要因は全て、関連するSBファンド運用会社の評価の根拠となった前提及び状況と異なる可能性があります。

過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではありません。SBファンド又はSBファンド運用会社により運用される将来のファンドのパフォーマンスは、本資料に示されるパフォーマンス情報よりも大幅に低くなる可能性があります。各SBファンド又は関連するSBファンド運用会社により運用されるいずれか将来のファンドが、本資料に示される実績と同等の実績を達成するという保証はありません。

本資料に記載される第三者のロゴ及びベンダー情報は、説明目的のためにのみ提供されるものです。かかるロゴの記載は、かかる企業又は事業との提携又はその承認を示唆するものではありません。SBファンド運用会社、SBファンドのポートフォリオ会社、SBファンド運用会社により運用される将来のファンドの将来のポートフォリオ会社、又はSBGが、本資料に記載されるロゴを有する企業又は事業のいずれかと今後業務を行うという保証はありません。

SBGA及びSBIAは、ビジョン・ファンド1、ビジョン・ファンド2及びラテンアメリカファンドの運用に関して、相互にSBGからそれぞれ別個独立した業務プロセスを採っています。SBGA又はSBIAによって運用されるSBファンドは、それぞれSBGA単独又はSBIA単独で運用されています。

# 当社の最重要指標('22年12月末時点)

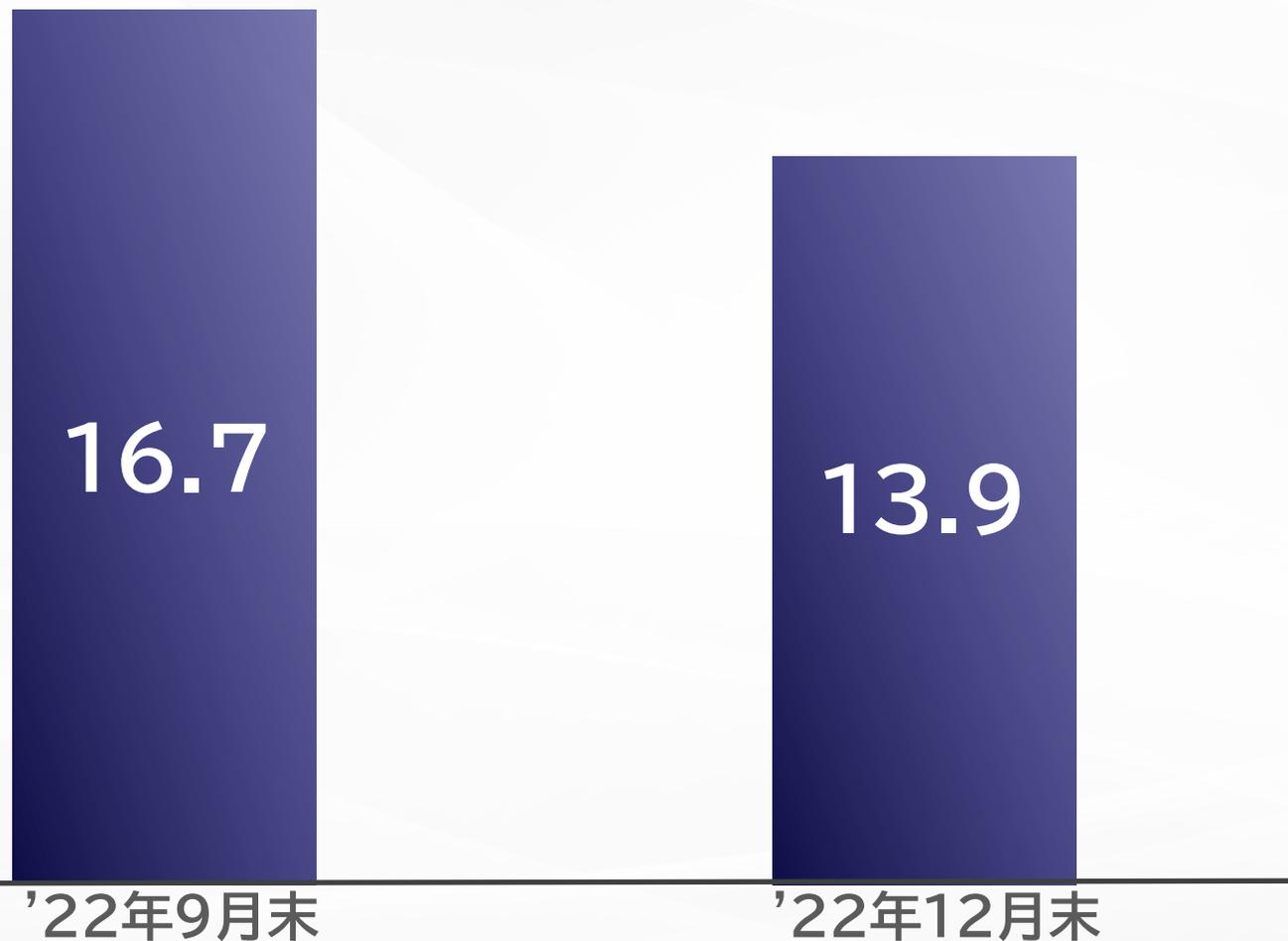
NAV(時価純資産)13.9兆円

LTV(純負債／保有株式価値)18.2%

手元流動性 3.8兆円

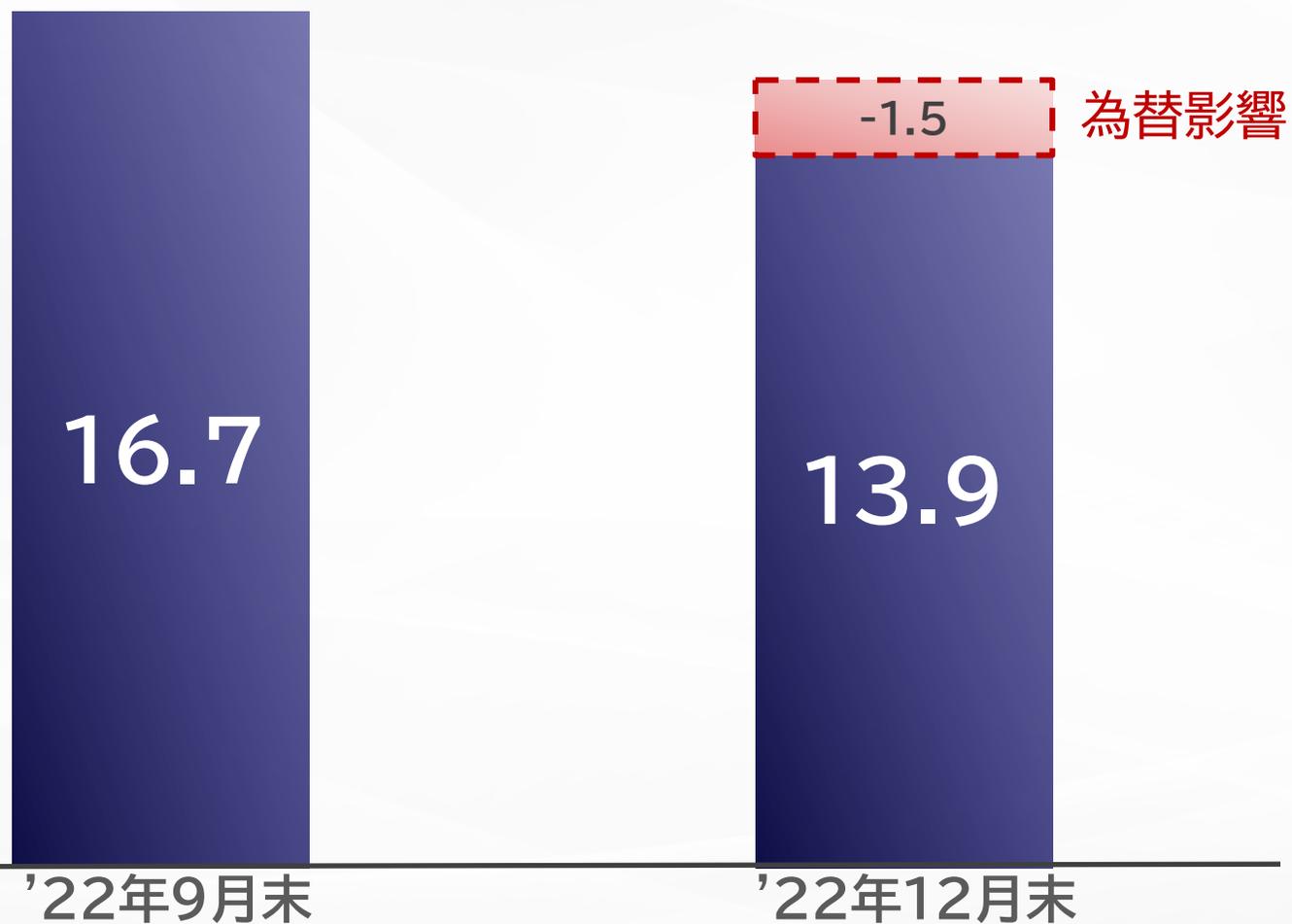
# NAVの変化

(兆円)



# NAVの変化

(兆円)



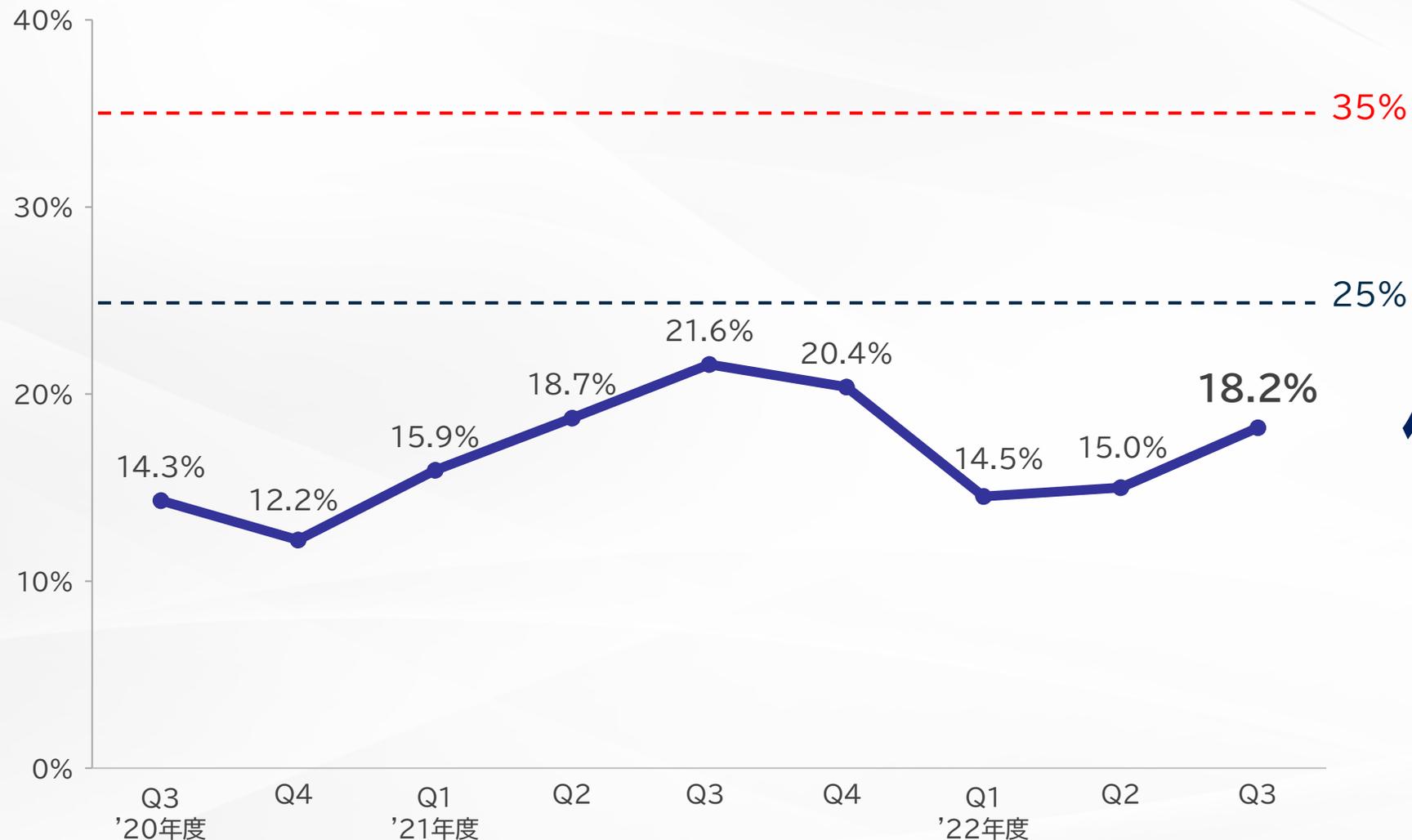
# 為替の動向('21年12月末以降)

(ドル/円)



# LTVの推移

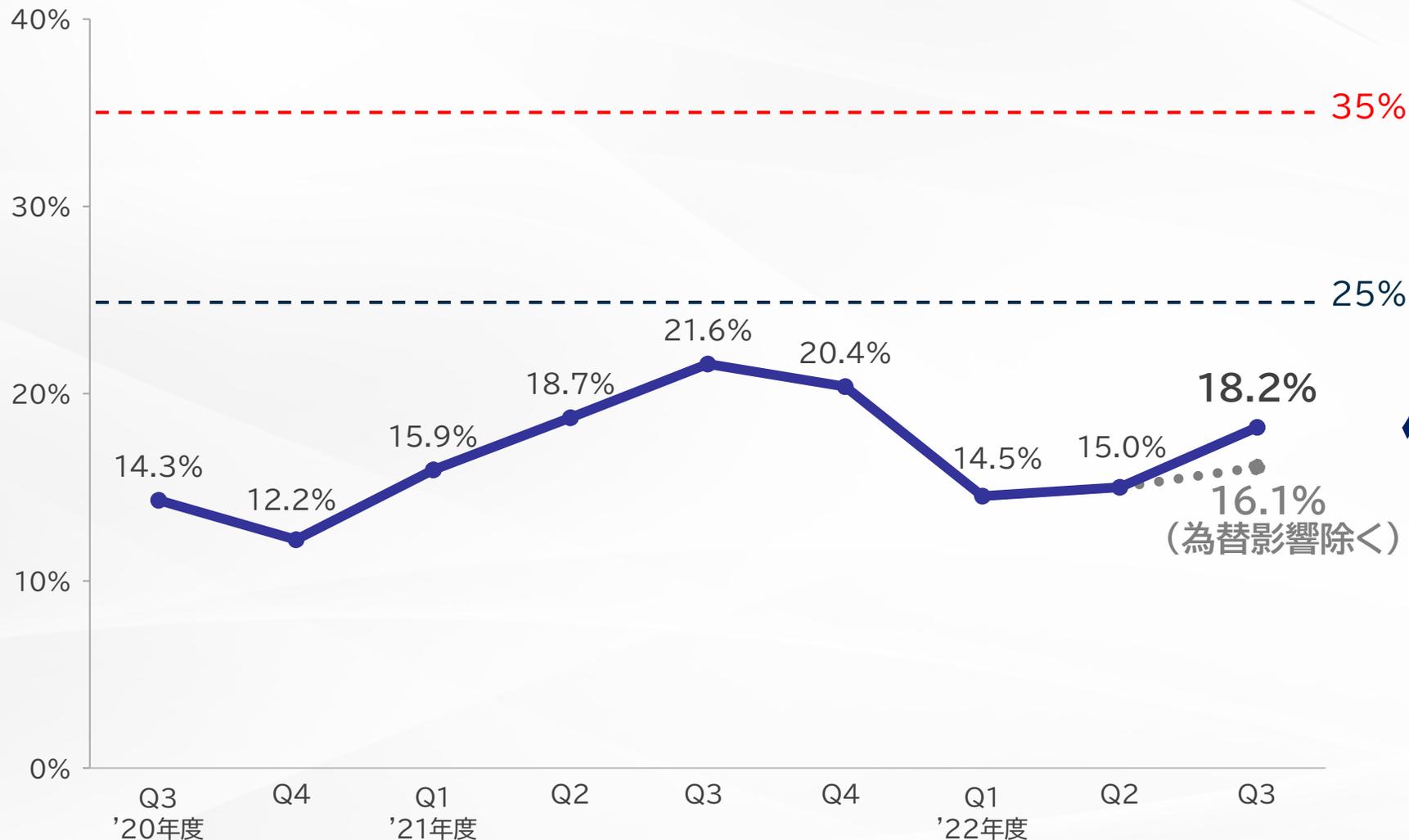
アセットバック・ファイナンス除く



## 低位を維持

# LTVの推移

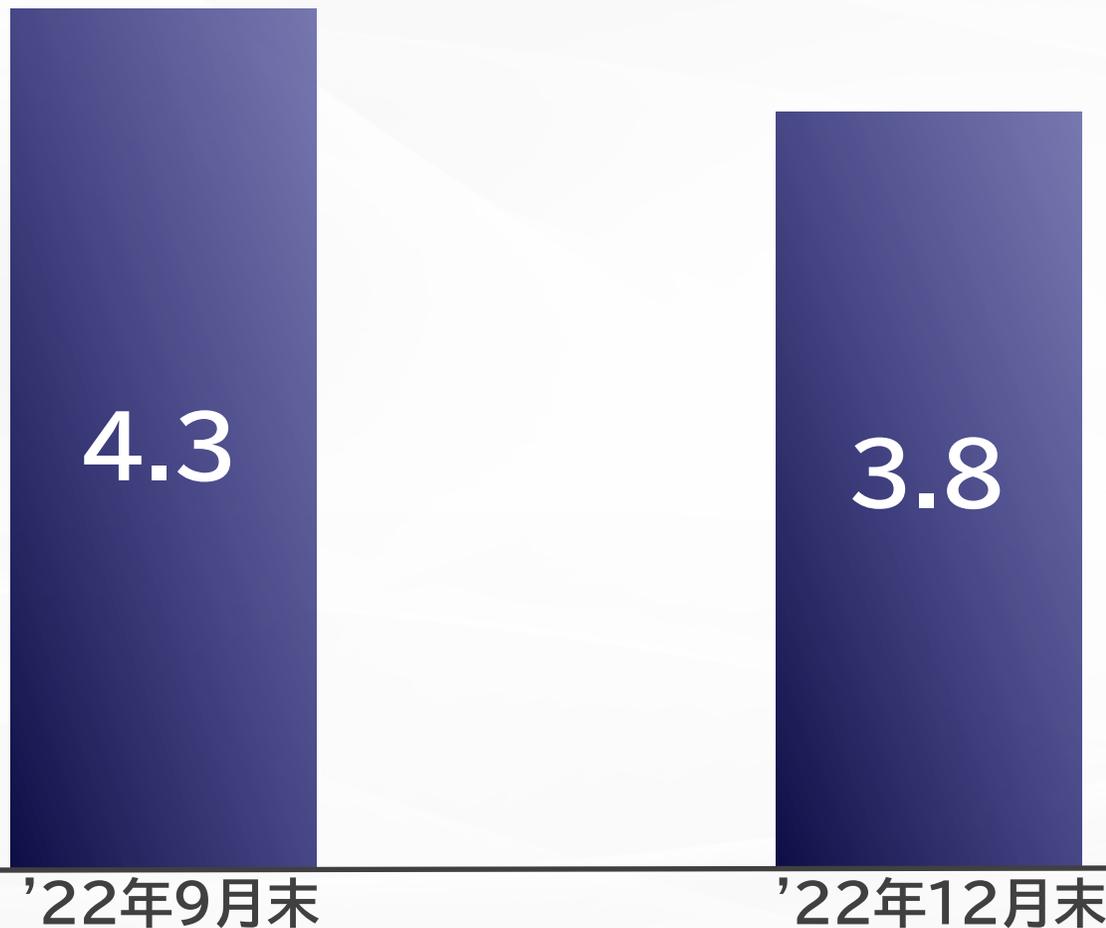
アセットバック・ファイナンス除く



## 低位を維持

# 手元流動性

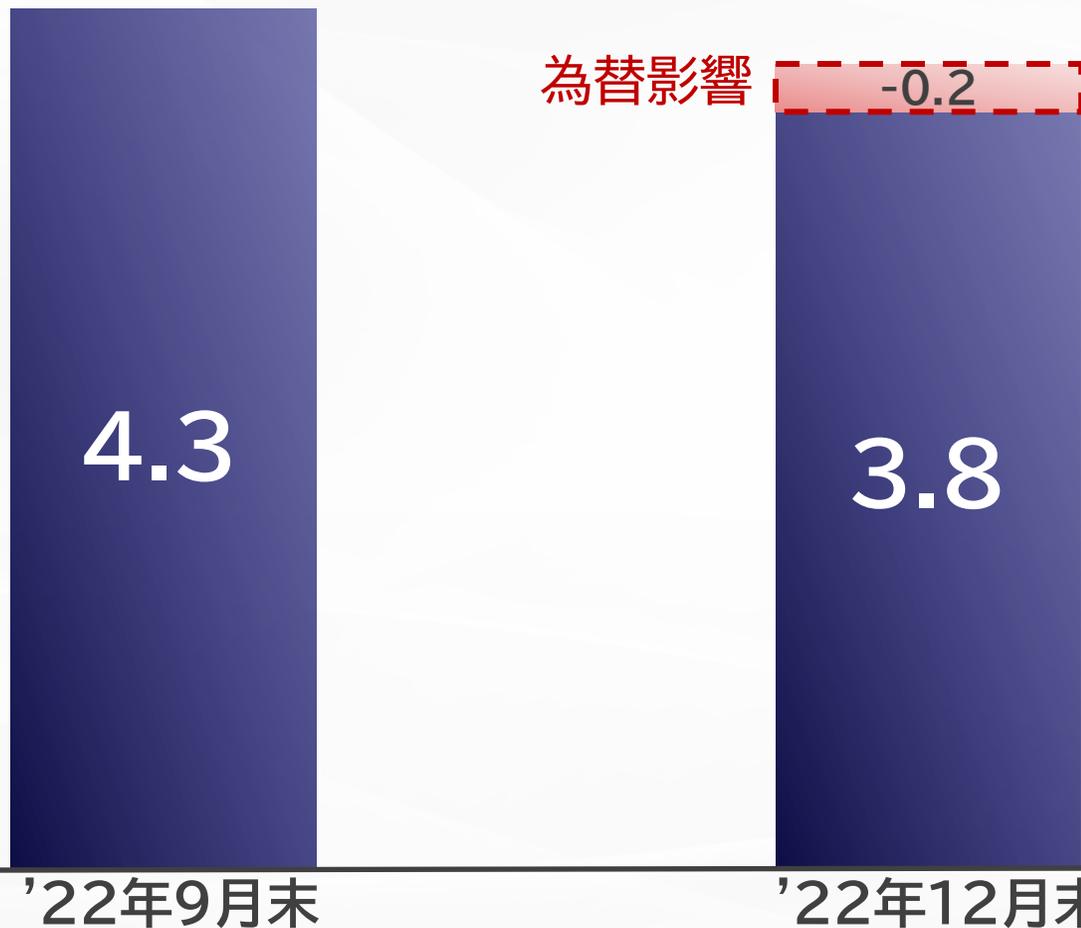
(兆円)



高水準を維持

# 手元流動性

(兆円)



高水準を維持

# 当社の現状

**「守り」は盤石**

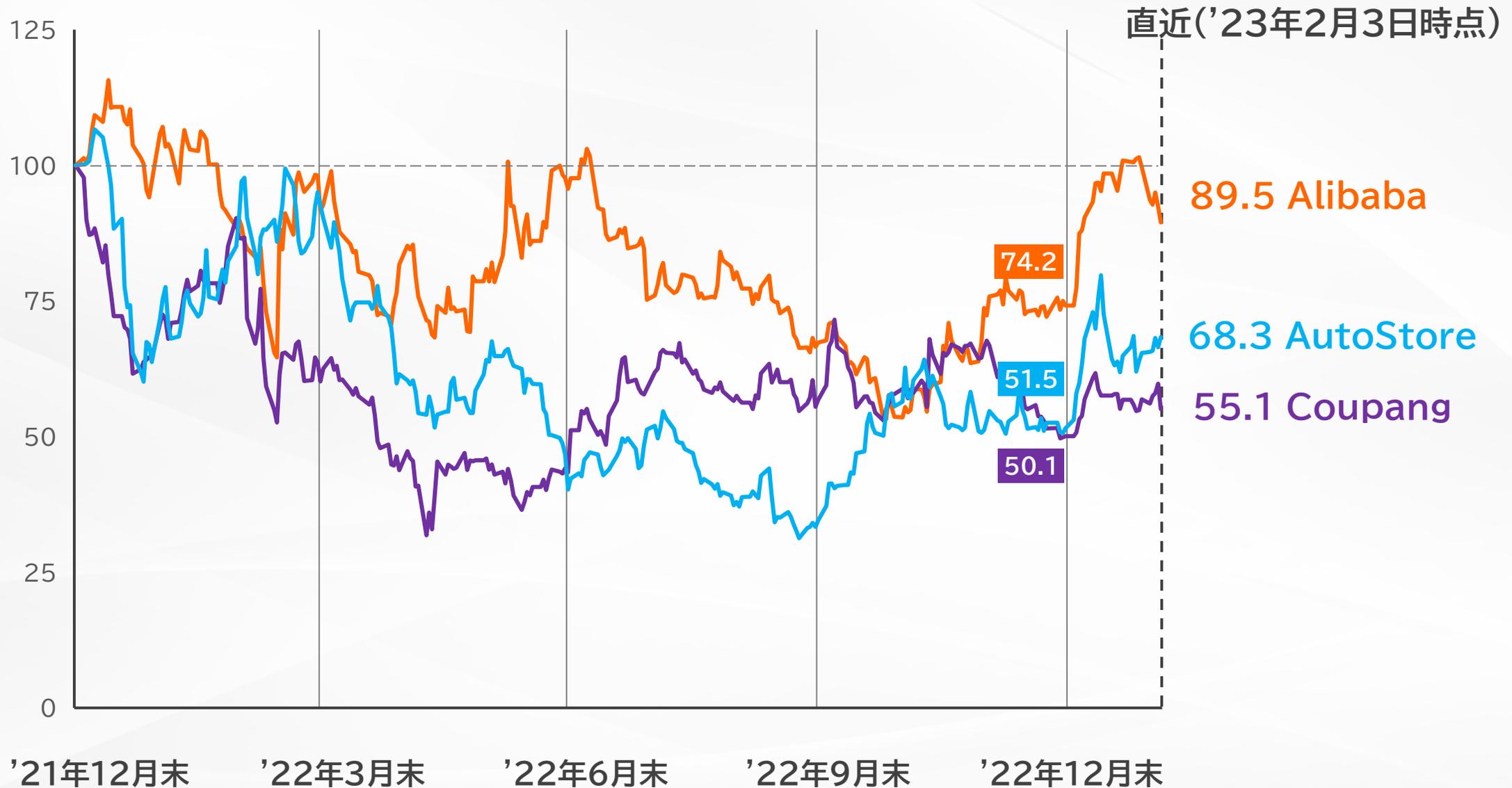
**「攻め」のための潤沢な資金確保**

いつ「攻め」に転じるのか？

# 株式市場の動向('21年12月末を100として指数化)

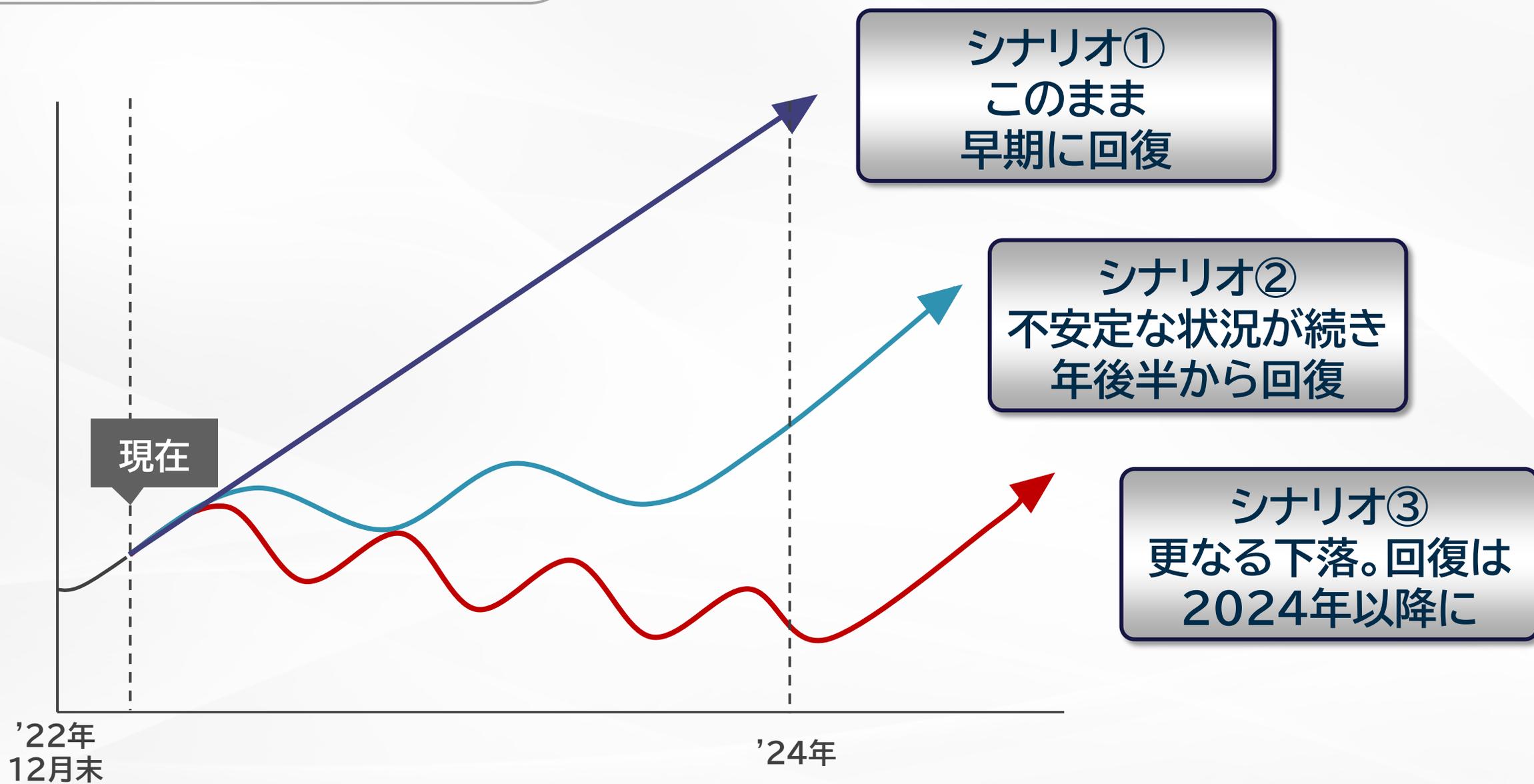


# 主な上場投資先の株価('21年12月末を100として指数化)



主な上場投資先:'22年12月末時点における当社の主要投資エンティティ(持株会社投資事業を構成する会社、SVF1、SVF2)それぞれの上場投資銘柄のうち、最も公正価値の高い銘柄 Bloombergを基に当社作成

# 今後の市場動向



# 市場動向の見方

## 注視すべき要因

- インフレの動向
- 政策金利
- リセッション入りの可能性
- 地政学リスクの状況



株式市場の本格回復は  
年後半以降との見方あり

プライベート市場での  
資金調達とIPOの動向

# 当社の投資戦略

## 「情報革命の資本家」

- ビジョンは不変
- 長期の運用方針



あらゆるシナリオを想定した安全な財務運営

アームなど投資先の価値向上に引き続き注力

# 連結業績

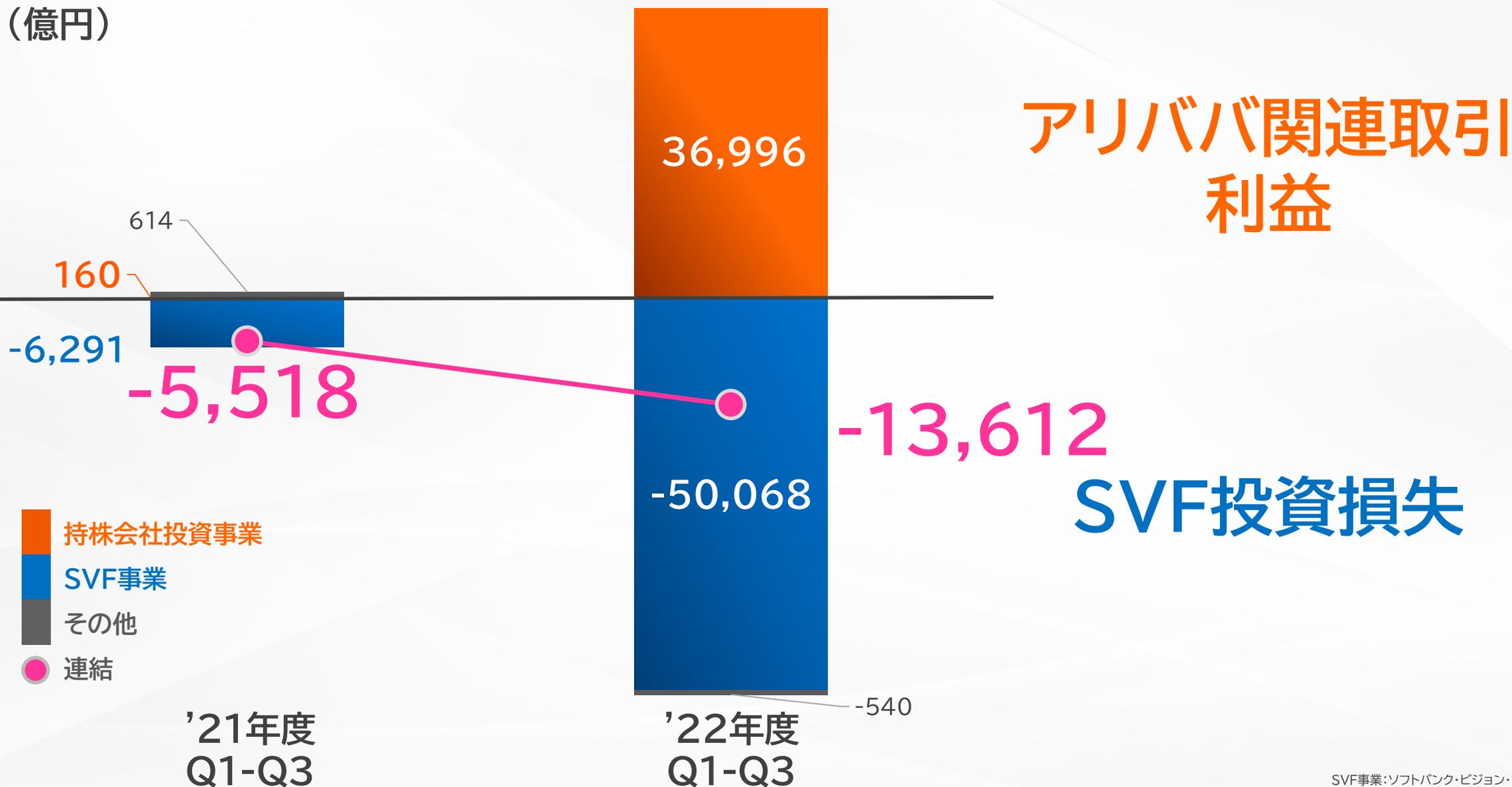
# 連結業績の状況

(億円)

	'21年度 Q1-Q3	'22年度 Q1-Q3	増減額
売上高	45,808	48,758	+2,949
投資損益	-5,518	-13,612	-8,094
税引前利益	12,347	-2,900	-15,248
純利益	3,926	-9,125	-13,051

# 投資損益

(億円)



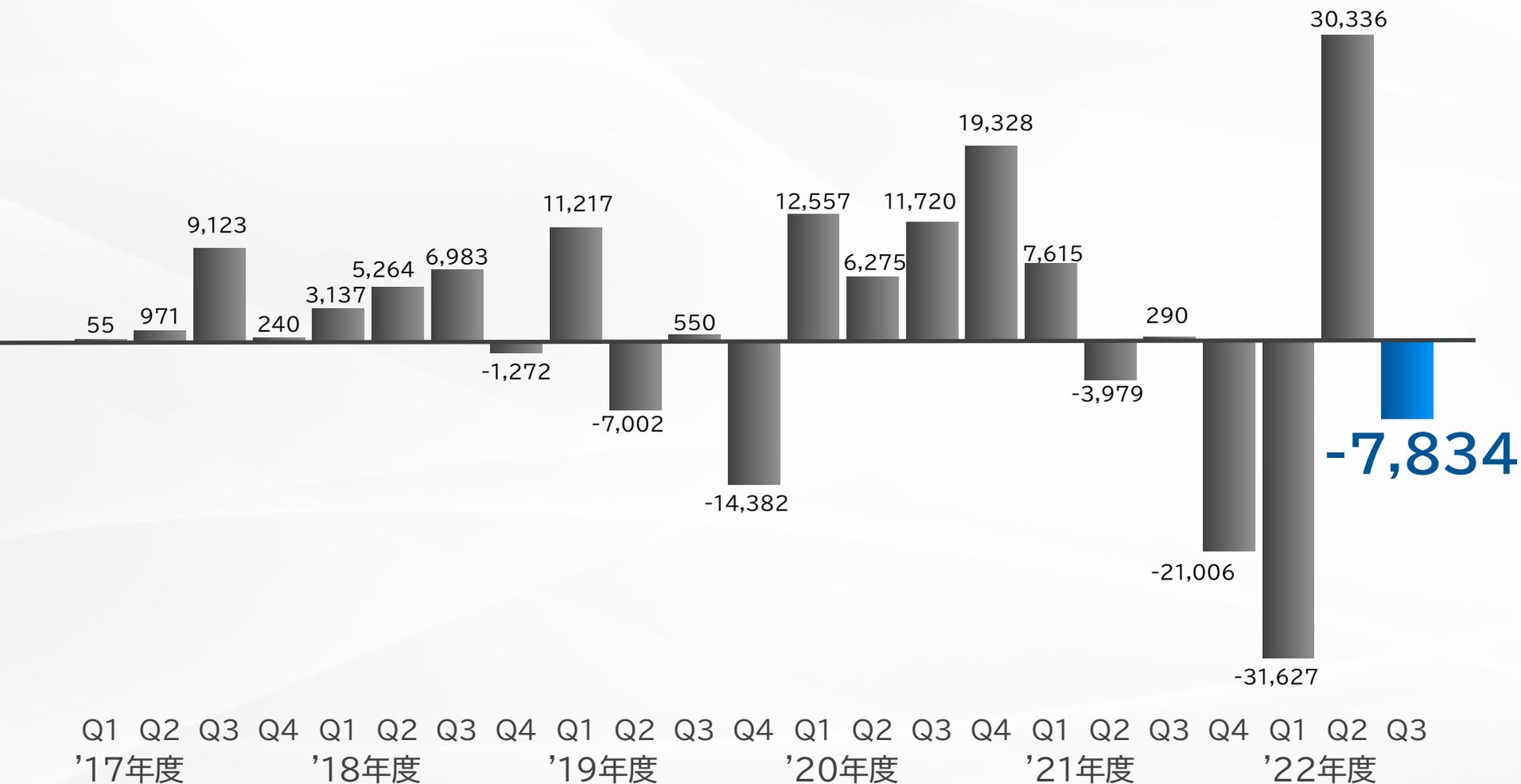
# 税引前利益 (セグメント別)

(億円)

	'21年度 Q1-Q3	'22年度 Q1-Q3	増減額
持株会社投資事業	9,730	31,318	+21,588
SVF事業	-3,508	-40,108	-36,600
ソフトバンク事業	7,008	5,455	-1,553
アーム事業	311	549	+238
その他・調整額	-1,193	-115	+1,078
連結	12,347	-2,900	-15,248

# 純利益 (四半期)

(億円)



# 為替影響（'22年度Q1-Q3累計）

## NAVへの影響

NAVの増加

+1.2兆円

## 会計への影響

資本の増加

+1.2兆円

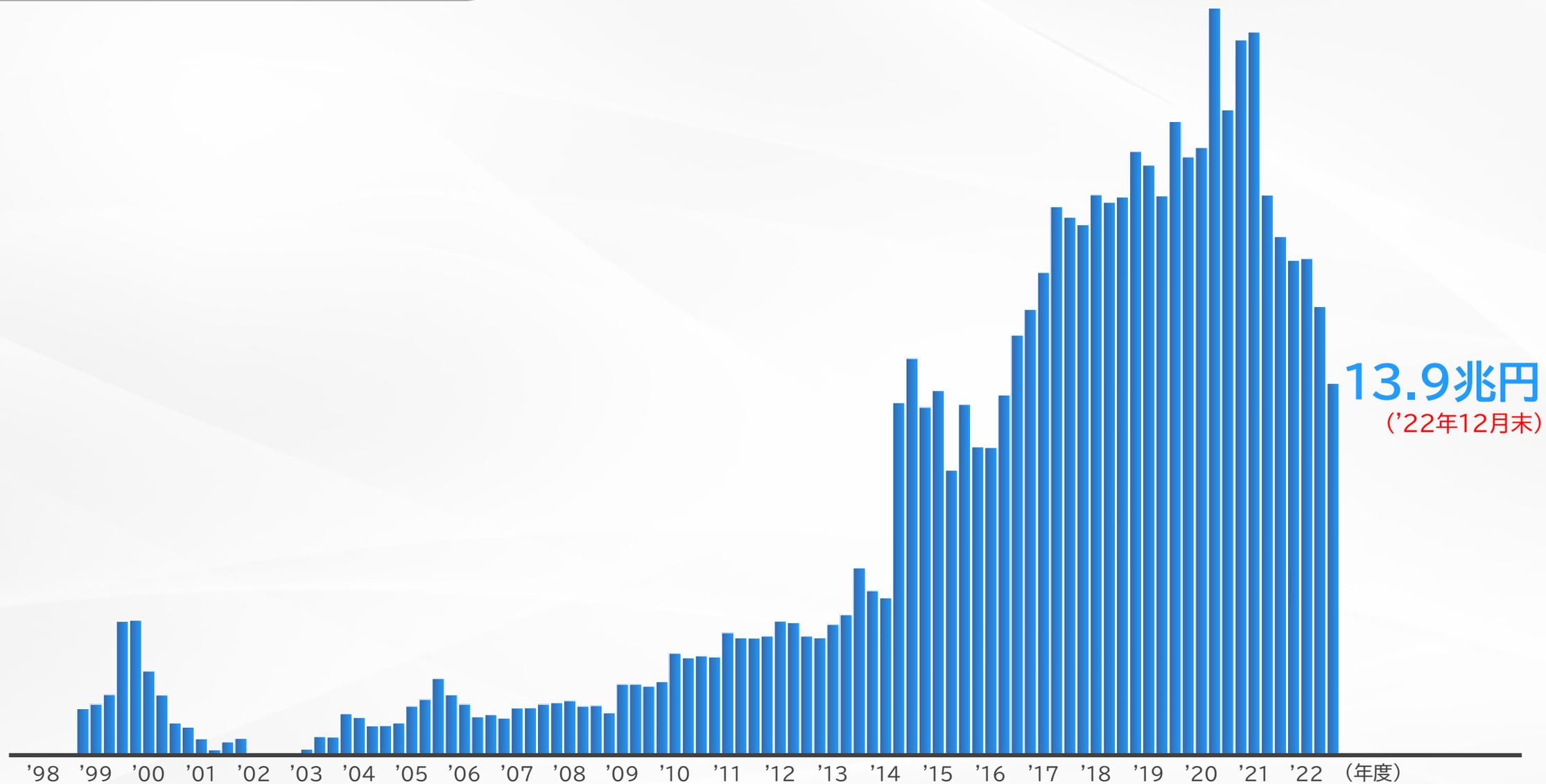
連結純利益

-0.7兆円

（上期累計 -1.1兆円から改善）

# 円安はNAVと資本にプラスの影響

# NAVの推移



13.9兆円  
( '22年12月末)

# NAV

(兆円)

保有株式価値

19.7

純負債

3.0

NAV

16.7

16.9

3.1

13.9

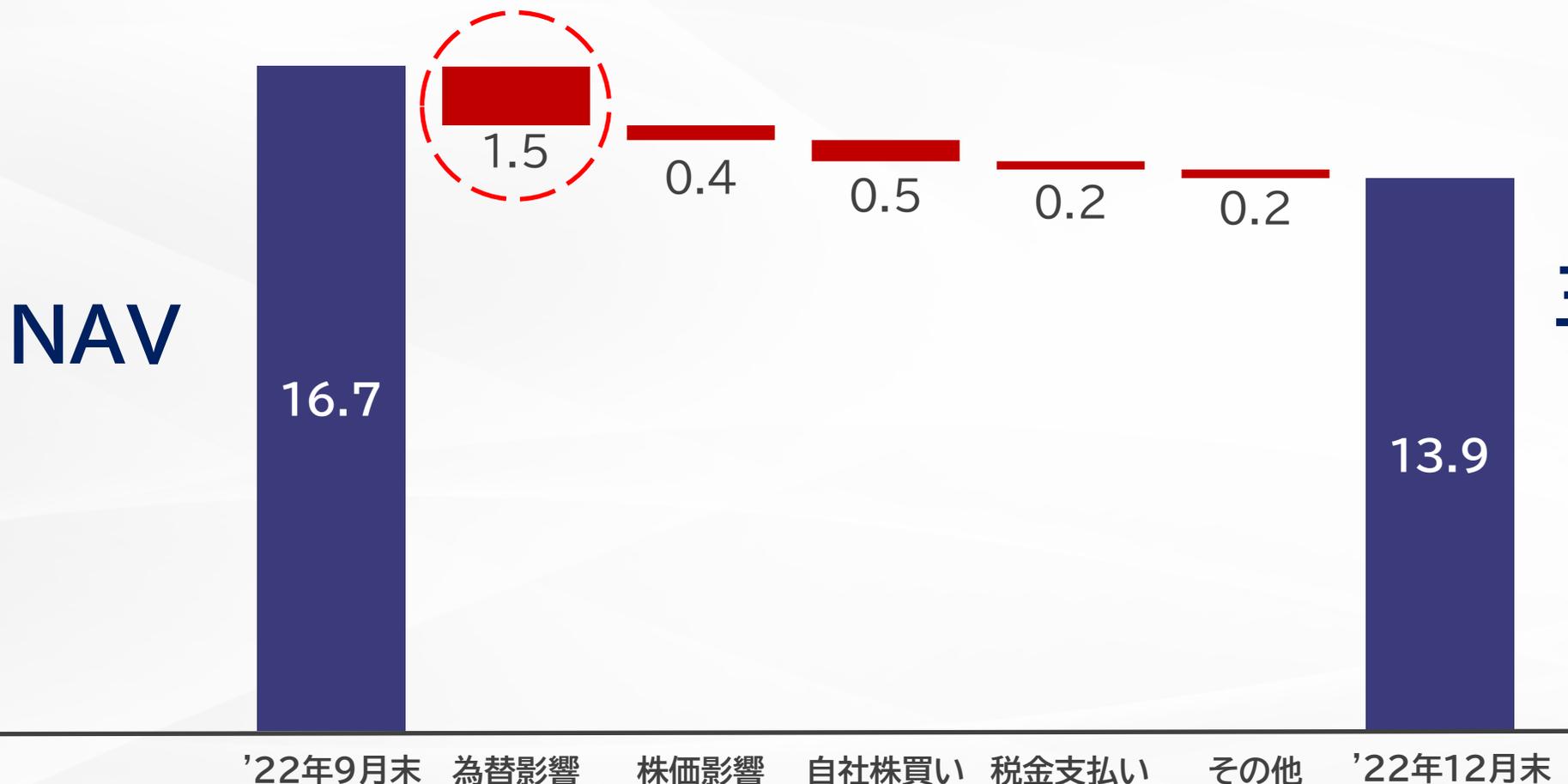
'22年9月末

'22年12月末

NAVは  
9月末比  
2.8兆円減少

# NAV増減分析

(兆円)



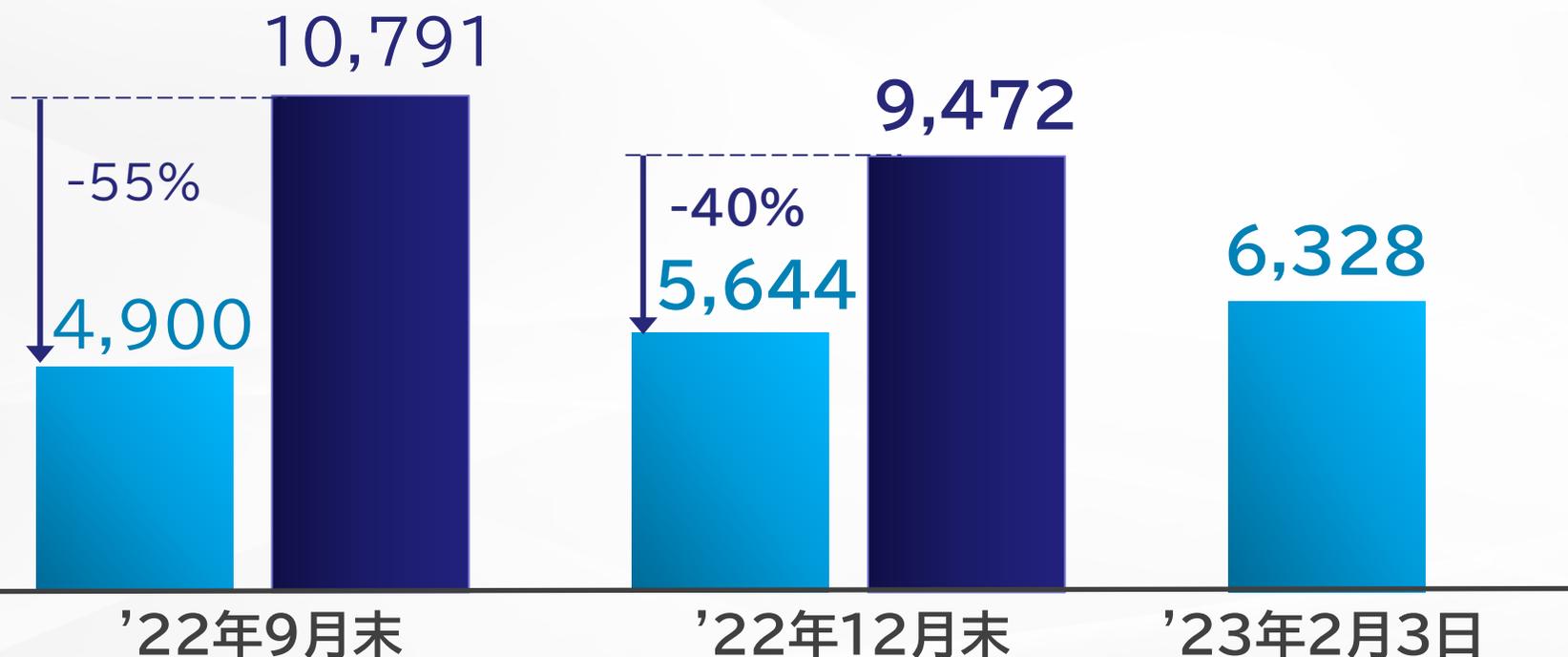
主に円高影響で  
2.8兆円減少

# 1株当たりNAVと株価

(円)

■ 株価

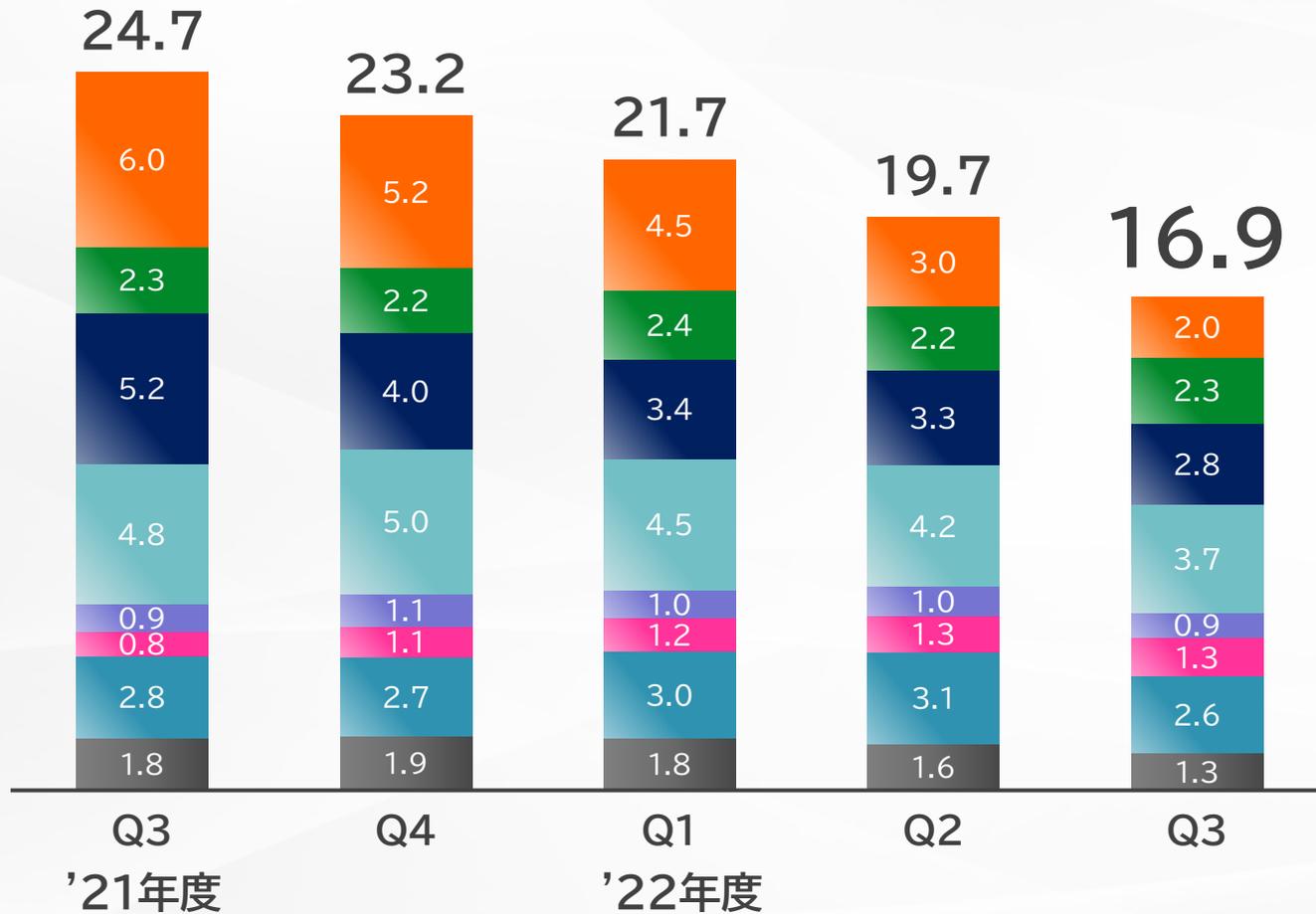
■ 1株当たりNAV



# 保有株式価値

(兆円)

アセットバック・ファイナンス除く



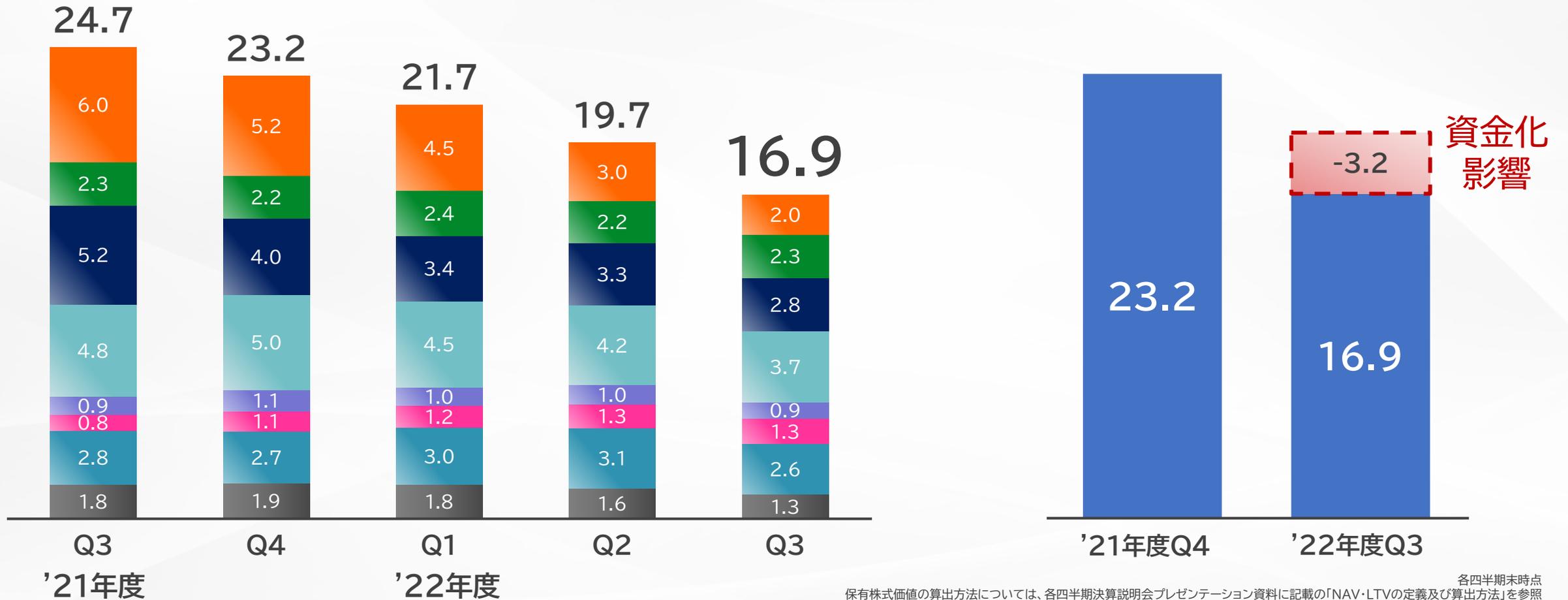
構成比('22年12月末時点)



# 保有株式価値

(兆円)

アセットバック・ファイナンス除く



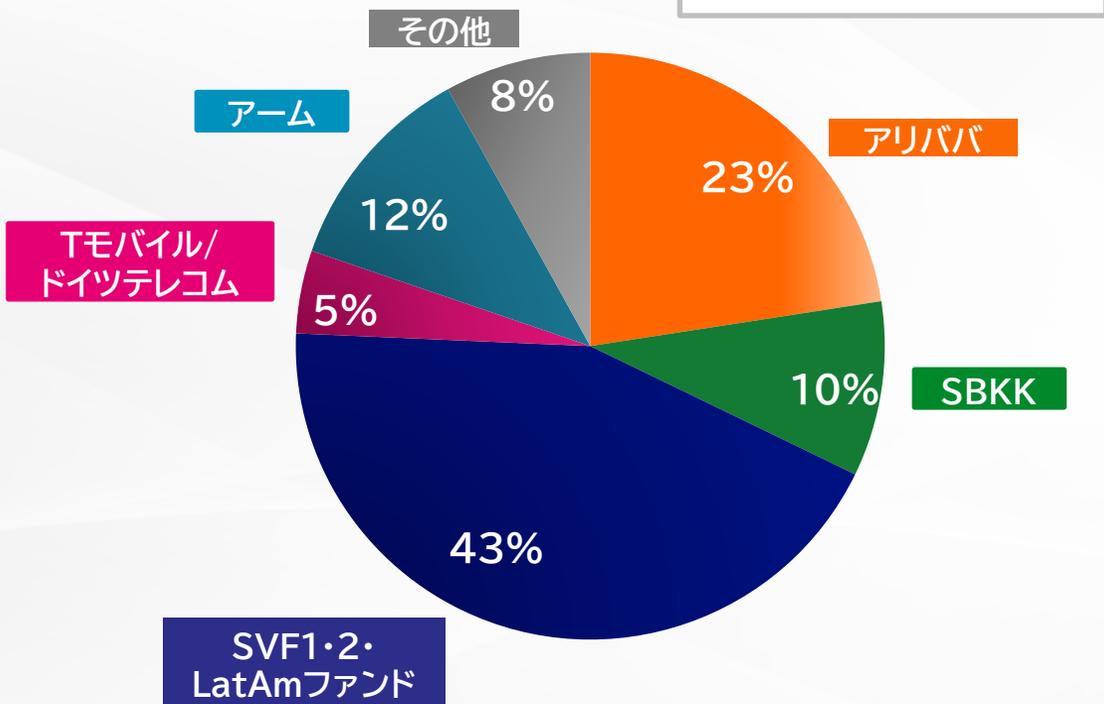
各四半期末時点  
 保有株式価値の算出方法については、各四半期決算説明会プレゼンテーション資料に記載の「NAV・LTVの定義及び算出方法」を参照  
 資金化影響: 資金化+アセットバック・ファイナンス返済額、各期の平均レート等により円換算  
 資金化: SVF1からの分配(+ \$2.1B)、SVF2からの分配(+ \$0.5B)、LatAmファンドからの分配(+ \$0.1B)、SB Northstarからの資金還流(+ \$0.9B)、アリババ株式を活用した株式先渡売買契約(+ \$24.4B)、  
 アーム株式を活用したアセットバック・ファイナンスによる調達(+ \$1.4B)、Tモバイル株式売却(+ \$2.4B)、SoFi Technologies, Inc. 株式売却(+ \$0.7B)  
 アセットバック・ファイナンス返済額: アリババ株式を活用したマージン・ローン返済(- \$6.0B)、Tモバイル株式を活用したマージン・ローン返済(- \$2.1B)、アーム株式を活用したアセットバック・ファイナンス返済(- \$0.9B)

# 保有株式価値：ポートフォリオの分散

アセットバック・ファイナンス除く

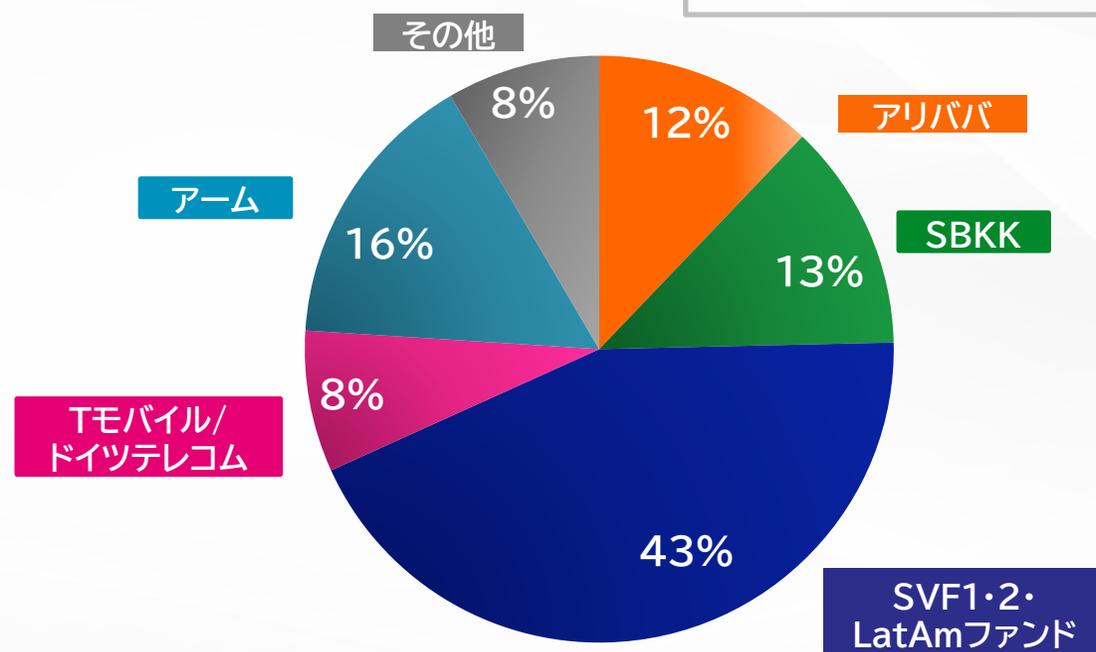
'22年3月末

上場株式の割合  
(アセットバック・ファイナンス控除後)  
52%



'22年12月末

上場株式の割合  
(アセットバック・ファイナンス控除後)  
44%



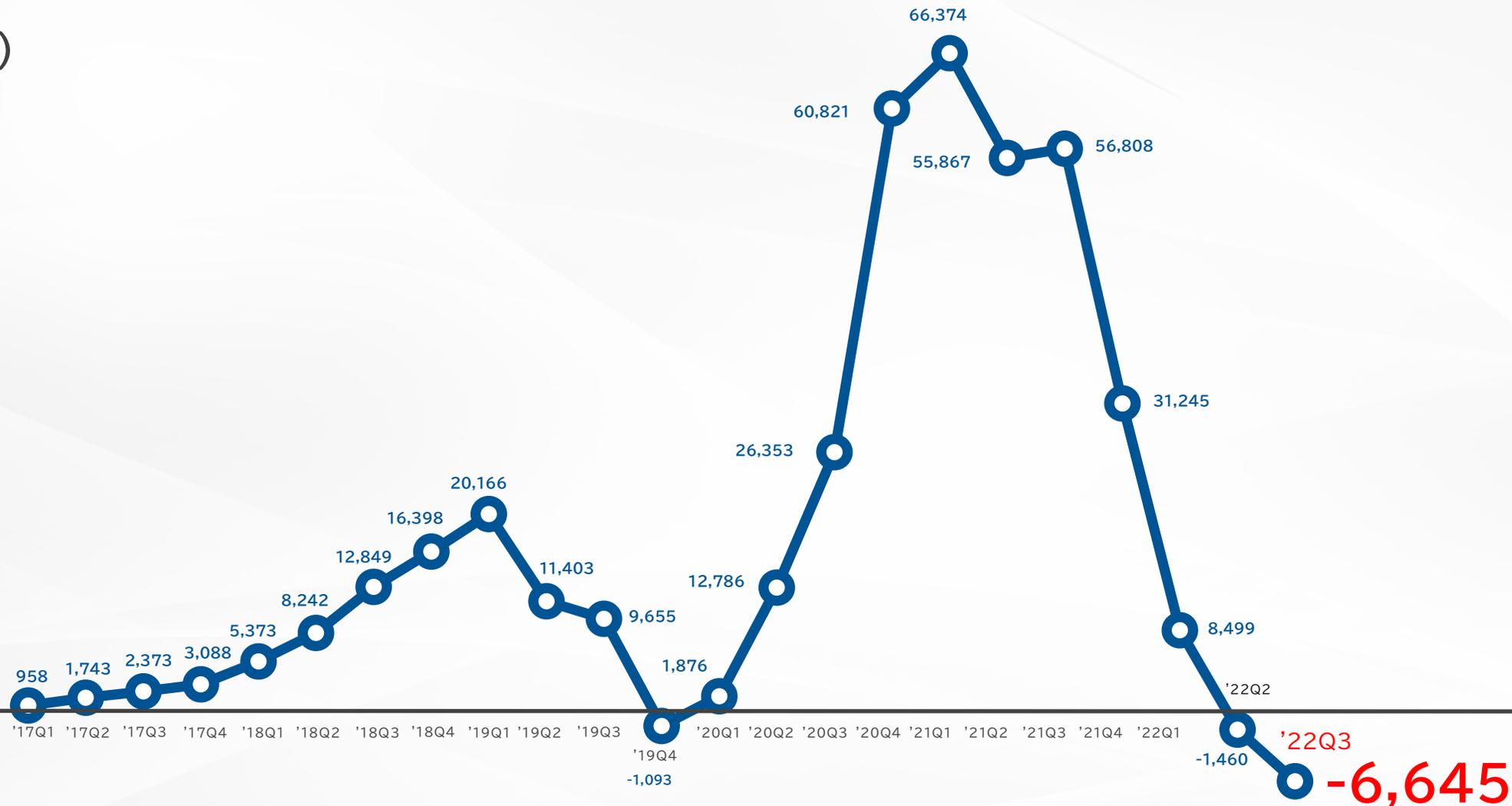
保有株式価値の詳細は、Appendix「NAV・LTVの定義及び算出方法('22年3月末時点)」「NAV・LTVの定義及び算出方法('22年12月末時点)」を参照  
上場株式の割合: アリババ、SVF1・SVF2・LatAmファンドが保有する上場株式、SBKK、Tモバイル、ドイツテレコム、およびその他のうちの上場株式を含む(ただし、SVF1、SVF2およびLatAmファンドはSBGの持分のみを含む)。  
(i) '22年12月末時点のSBGの保有株式価値のうち上場株式価値の占める割合(アセットバック・ファイナンス控除後)と、(ii)アームの上場準備状況を踏まえた、'22年12月末時点のSBGのアーム保有株式価値(アセットバック・ファイナンス控除後)を合計すると60%となる。アームは既に上場準備の開始を発表しているが、上場の時期、上場後のアームの価値およびSBGのアーム保有株式価値については未定であり、これらについて何らの保証または示唆を与えるものではない。

# SoftBank Vision Fund

# 投資損益 (累計)

USDベース  
(SVF1+SVF2+LatAmファンド)

(\$M)



投資損益(累計): 当社連結財務諸表の作成における為替換算前のSVF投資損益の'17年度Q1からの累計上額  
(デリバティブ関連損益含む、外部投資家持分および税金等控除前)

# 投資損益 (四半期)

USDベース  
(SVF1+SVF2+LatAmファンド)

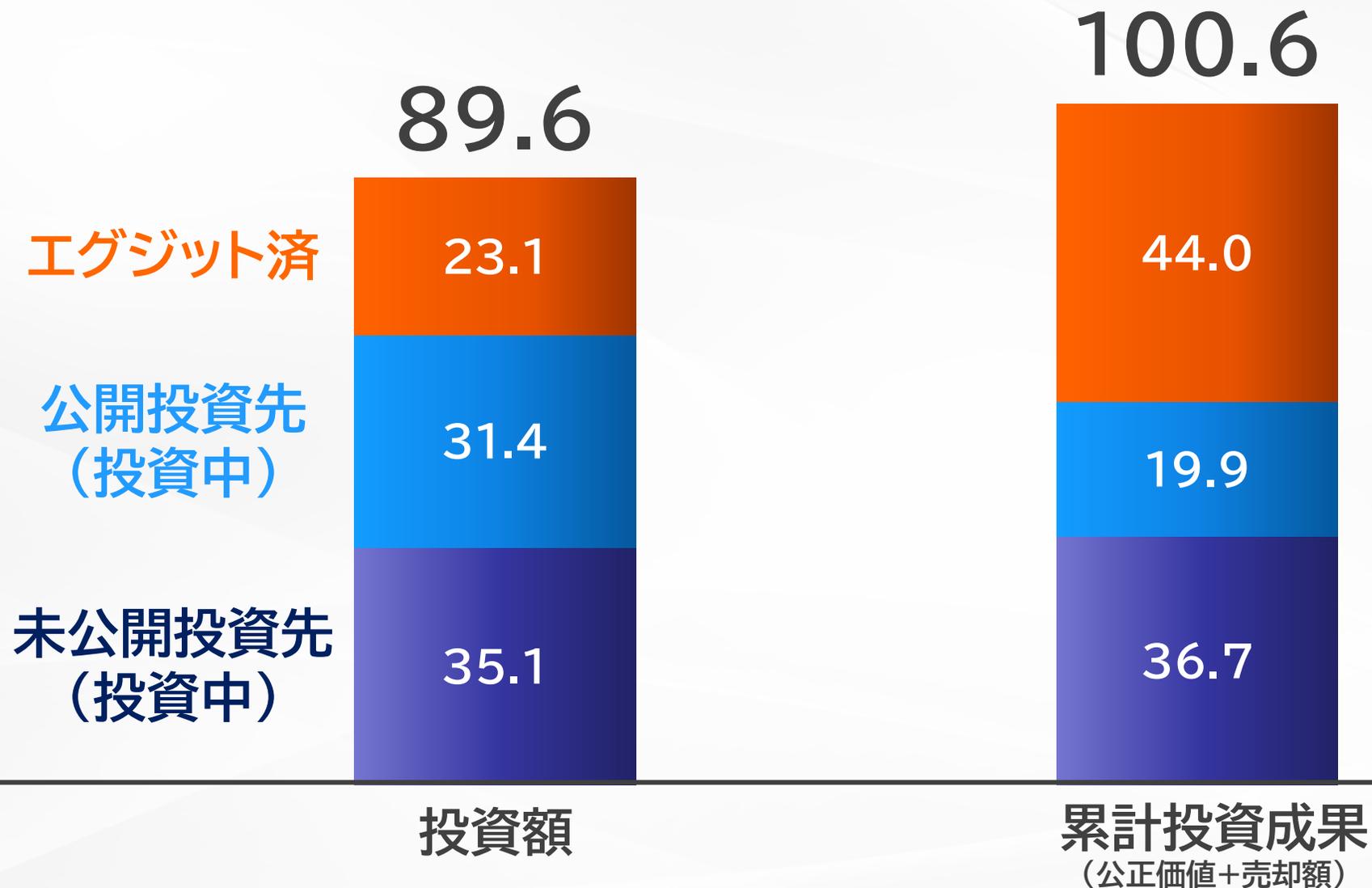
(\$M)



投資損益(四半期): 当社連結財務諸表の作成における為替換算前のSVF投資損益の四半期計上額  
(デリバティブ関連損益含む、外部投資家持分および税金等控除前)

# SVF1 累計投資成果（'22年12月末時点）

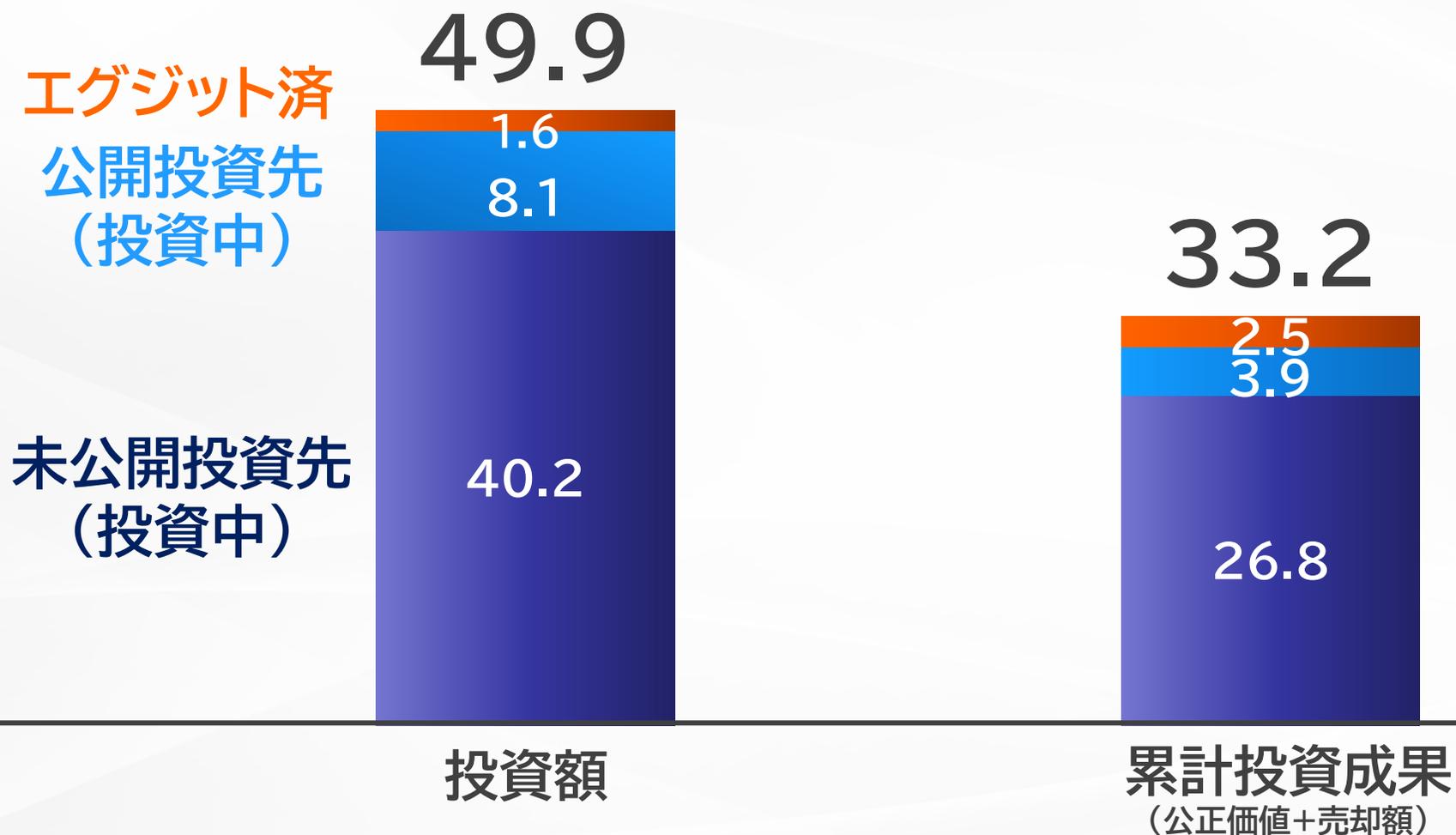
(\$B)



外部投資家持分および税金等の控除前。投資先の公開／未公開の区分は、'22年12月末時点の状態に基づく。  
エグジット済には、株式交換による処分(売却)、投資に係るデリバティブ関連損益(未決済のデリバティブを含む)、投資先からの利息および配当金を含む。公開投資先には店頭市場で取引されている株式への投資を含む。  
当社からSVF1への移管が決定されていたものの実行されなかった投資について、移管の取りやめを決定するまでの期間に発生した未実現評価損益は含めていない。

# SVF2 累計投資成果 ('22年12月末時点)

(\$B)

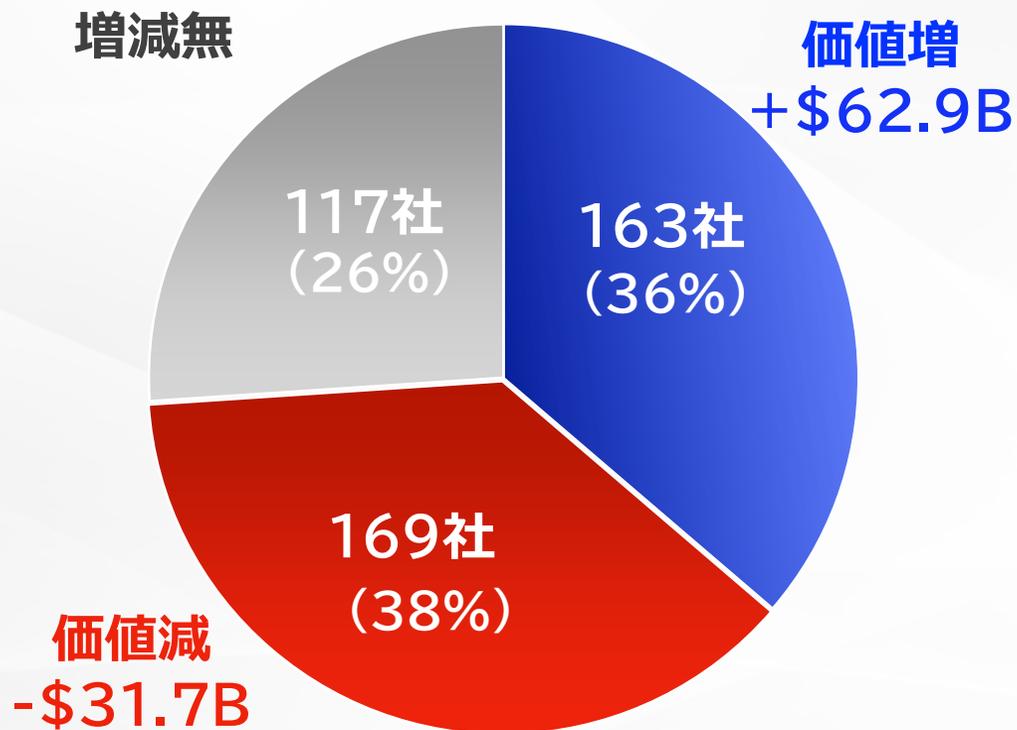


外部投資家持分および税金等の控除前。投資先の公開/未公開の区分は、'22年12月末時点の状態に基づく。  
エグジット済には、投資に係るデリバティブ関連損益(未決済のデリバティブを含む)、投資先からの利息および配当金を含む。公開投資先には店頭市場で取引されている株式への投資を含む。  
SVF2のエグジット前の投資の投資額および公正価値には、投資の取得対価の一部として受領した他会社の非支配持分に係るものを含む。

# ポートフォリオの価値変動 (累計)

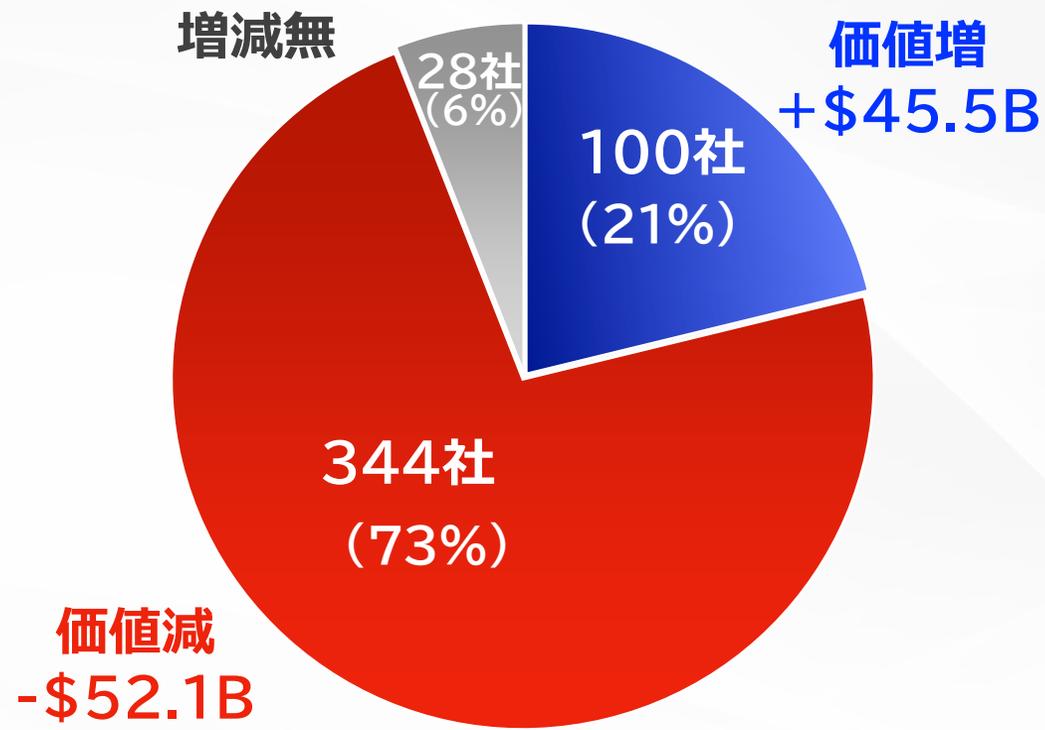
USDベース  
(SVF1+SVF2+LatAmファンド)

'22年3月末



\$31,245M (449社)

'22年12月末



-\$6,645M (472社)

# 投資損益 ('22年度Q1-Q3)

USDベース  
(SVF1+SVF2+LatAmファンド)

計-\$37,890M

## 価値増 +\$3,377M (45社)

(価値増の主要因)

+\$1,110M    +\$788M    +\$25M    +\$1,392M    +\$62M

取引事例	投資先 業績	市場要因	公開 投資先	その他
(13社)	(5社)	(2社)	(10社)	(15社)

## 価値減 -\$41,267M (354社)

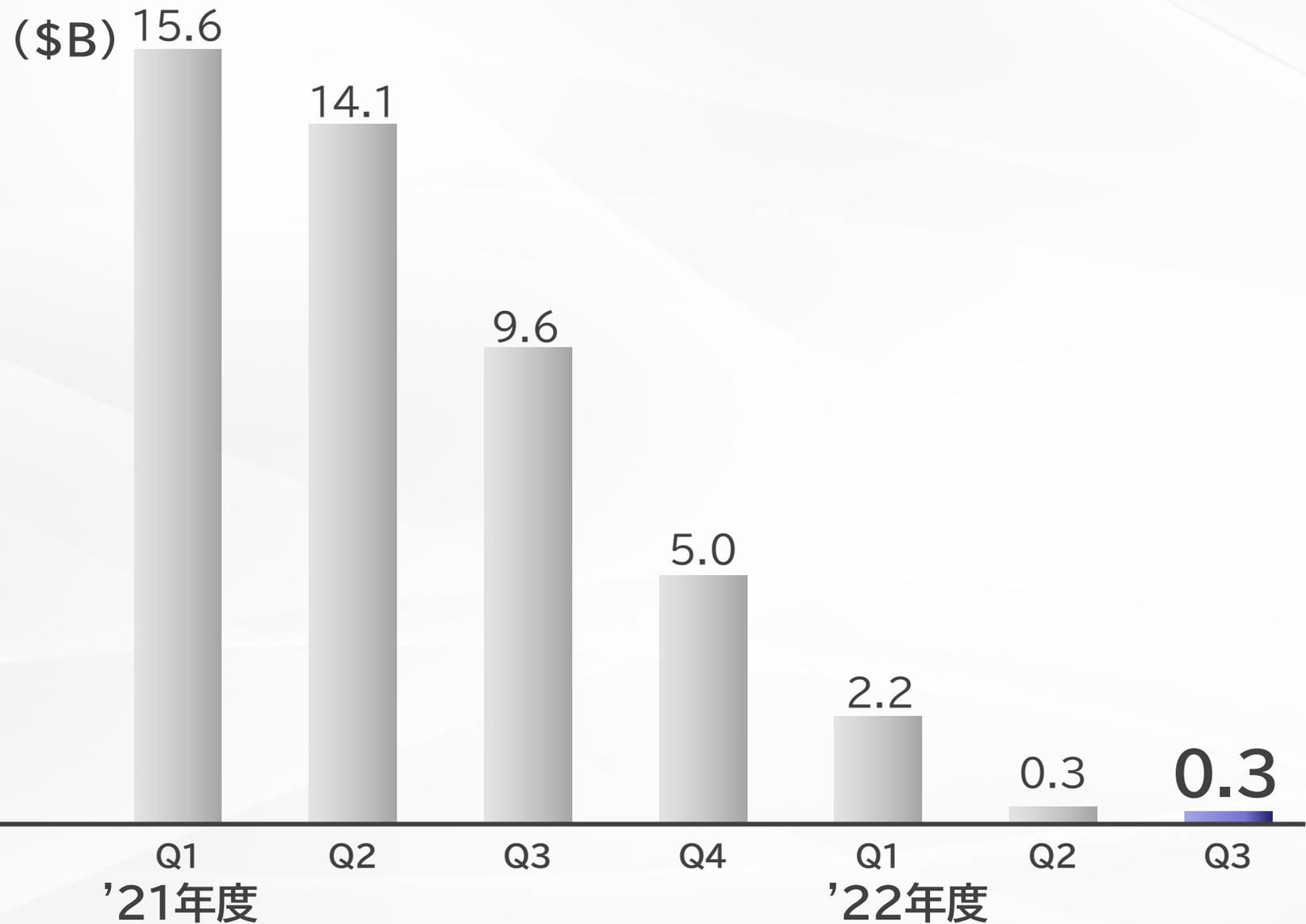
(価値減の主要因)

-\$2,799M    -\$7,837M    -\$12,215M    -\$16,628M    -\$1,788M

取引事例	投資先 業績	市場要因	公開 投資先	その他
(11社)	(138社)	(120社)	(38社)	(47社)

投資損益:SVF1、SVF2およびLatAmファンドからの投資損益(デリバティブ関連損益含む、外部投資家持分および税金等控除前)  
各投資先の'22年度Q1-Q3における価値変動の主要因について、SBGAおよびSBIAが合理的と考え決定した区分に基づき分類し表示  
(出所) SBGAおよびSBIA  
市場要因:類似企業株価比較、資本コストの変動などによる価値変動を含む。  
公開投資先:店頭市場で取引されているDiDiとZhangmenへの投資を含む。

# 投資額の推移 (SVF1+SVF2)



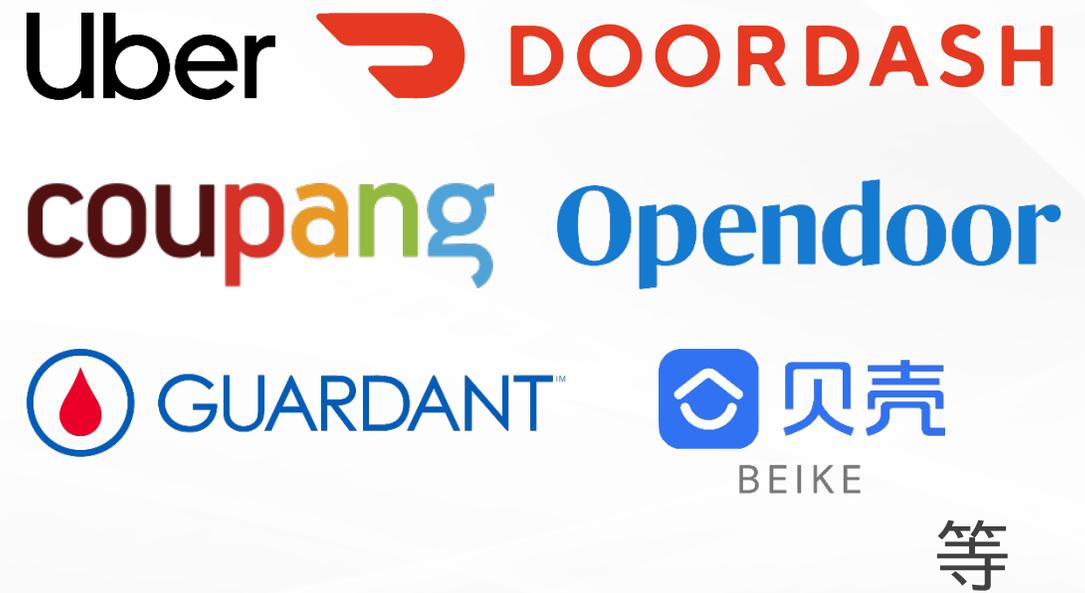
守りを徹底

# 株式公開、売却・資金化(SVF1+SVF2 '22年度Q1-Q3)

株式公開 **4件**



売却・資金化 **\$6.5B**



# SVFに対する懸念？

ファンドの運営方針は？

投資先の資金繰りは大丈夫？

投資先の価値を高められている？

ファンドの活動状況は？

投資先の上場プランは？

# SVFの当面の運営方針

AI革命への確信は不変

現環境下では「守り」を重視



新規投資の厳選

既存投資先の  
価値向上

# SVFにおける投資先の活動状況

## 買収・合併

規模拡大や新規市場への参入などを実現

(案件例)



## パートナーシップ

新チャネルの開拓やイノベーションの加速を実現

(パートナーシップ例)



## 効率性改善

オペレーションのコスト削減を推進

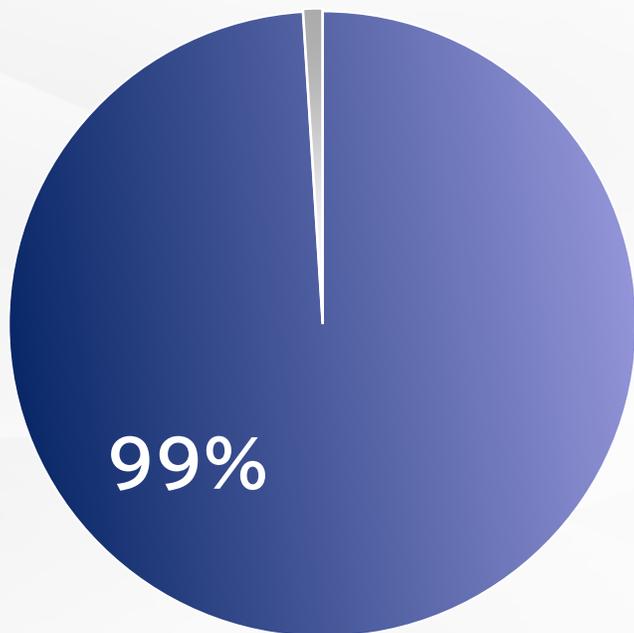
69%  
の投資先が  
販促費削減により  
効率性を改善

効率性改善: '22年7月1日から'22年12月31日の会計期間のうち、少なくとも1四半期において、販売促進費が前四半期比で減少した投資先企業の割合。データが入手不可能な投資先を除く。  
(出所) SBGAおよびSBIA  
本スライドに記載された指標または事例はSBGが選択したもの。これらの指標および事例は、SVF1、SVF2およびLatAmファンドの運営状況を説明するために例示としてのみ提供され、必ずしも投資先の業績または事業全体を示すものではない。また、過去の実績は将来の業績を示唆するものではない。

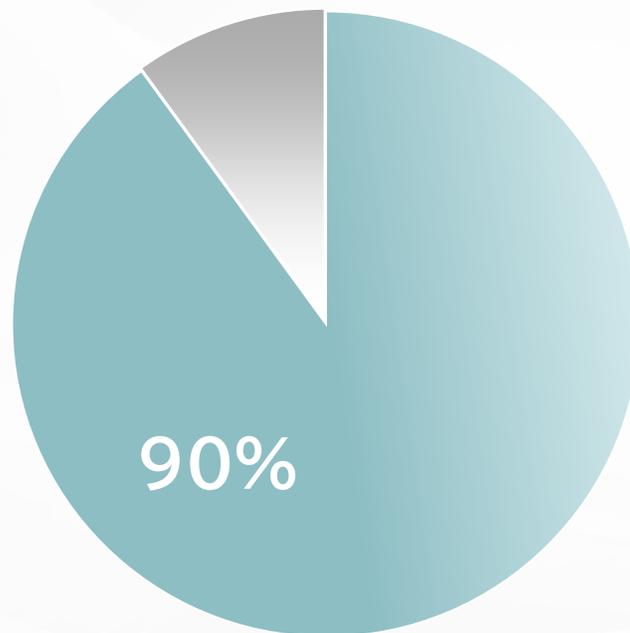
# 投資先の資金の状況

## 12か月以上の運転資金を確保している投資先（公正価値ベース）

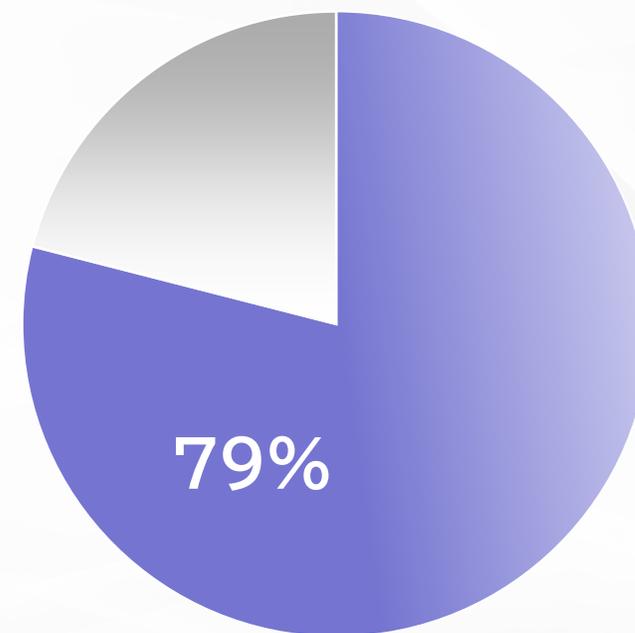
SVF1



SVF2



LatAmファンド



未公開投資先および店頭市場で取引されている投資先を含む。データが入手不可能な投資先を除く。  
'22年12月末時点  
(出所) SBGAおよびSBIA

本スライドに記載された指標または事例はSBGが選択したもの。これらの指標および事例は、SVF1、SVF2およびLatAmファンドの運営状況を説明するために例示としてのみ提供され、必ずしも投資先の業績または事業全体を示すものではない。また、過去の実績は将来の業績を示唆するものではない。

# SVF運営面の取り組み

**1** ポートフォリオの分散

**2** 規律ある資金化

**3** 資本の分配

# レイトステージ投資の状況

**\$37B超**

レイトステージ投資の価値  
(SVF1+SVF2+LatAmファンド)

今後の  
IPOに期待

レイトステージ投資の価値: '22年12月末時点におけるSVF1、SVF2およびLatAmファンドの投資先のうち、シリーズE以降の投資先の公正価値合計  
(出所) SBGAおよびSBIA

本スライドに記載された指標または事例はSBGが選択したもの。これらの指標および事例は、SVF1、SVF2およびLatAmファンドの運営状況を説明するために例示としてのみ提供され、必ずしも投資先の業績または事業全体を示すものではない。また、過去の実績は将来の業績を示唆するものではない。

The image features the ARM logo, which consists of the lowercase letters 'arm' in a white, sans-serif font. The logo is centered within a black diamond shape that has a white outline. This diamond is set against a dark blue background filled with a complex network of glowing blue lines and dots, resembling a circuit board or a data network. The lines are of varying thickness and brightness, creating a sense of depth and connectivity.

arm

# 半導体市場の発展

20世紀

21世紀

キープレイヤー



日・米・欧  
の寡占



台湾・韓国  
の台頭  
米中対立

半導体の  
位置づけ



電気製品の  
一部品



デジタル化・グリーン化  
の進展に伴い、半導体は  
セキュリティ・脱炭素の  
キーパーツに

半導体製造の主流

設計

製造

企業グループ内  
で完結

【統合型】

設計

製造

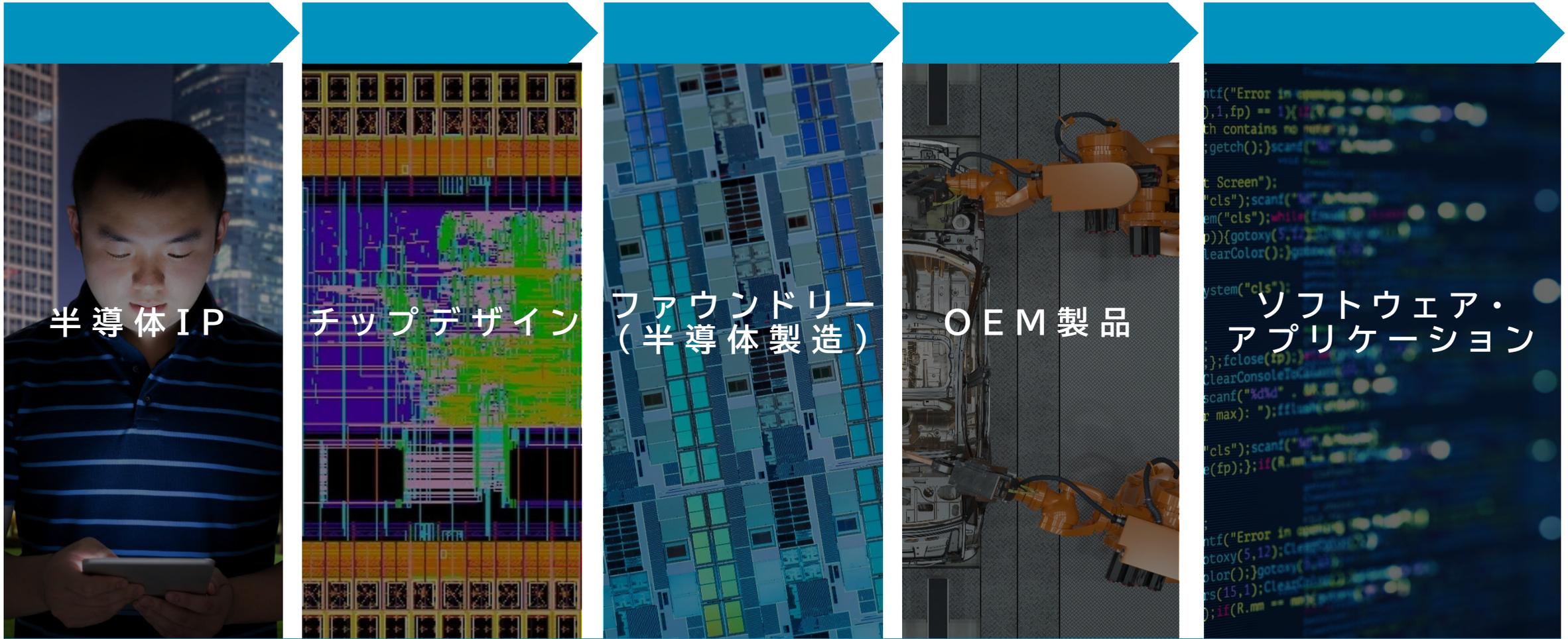
— オープンなアーキテクチャー (Arm)  
を用いたファブレス企業

— ファウンダリー企業

【分離型】

# 半導体バリューチェーン

arm



半導体チップにはプロセッサが必要。  
Armは、プロセッサIPの世界的なプロバイダーの一つ

ソフトウェアやアプリがArm上で作動。  
ArmのプロセッサIPプロバイダー  
としての将来性を裏付け

# 半導体バリューチェーン

## 半導体IP

ALPHAWAVE SEMI

cādence

CEVA

Imagination

siFive

SYNOPSYS

## チップデザイン

RENESAS

intel MICROCHIP

AMD Rackchip 瑞芯微电子

socionext

STI NXO life.augmented

MARVELL

REALTEK

@mlogic

SAMSUNG

SPREADTRUM

TEXAS INSTRUMENTS

BROADCOM

NORDIC SEMICONDUCTOR SILICON LABS

## ファウンドリー (半導体製造)

tsmc

UMC

SAMSUNG

Tower Semiconductor

FAB MIXED-SIGNAL FOUNDRY EXPERTS

SMIC

## OEM製品

PHILIPS Panasonic

SAMSUNG oppo

DELL hp MI

lenovo LG

ASUS TOYOTA

acer vivo Ford

ZTE Audi

BMW Mercedes-Benz VW

NISSAN HONDA aws

Microsoft Azure Google Cloud

amazon Canon SONY

## ソフトウェア・アプリケーション

Red Hat Google

Microsoft CNX

EQUINIX Green Hills SOFTWARE INC.

Adobe unity oculus

vmware docker

SIEMENS splunk

databricks IAR SYSTEMS

Linux

LAUTERBACH DEVELOPMENT TOOLS UNREAL ENGINE

TRUSTONIC

半導体チップにはプロセッサが必要。  
Armは、プロセッサIPの世界的なプロバイダーの一つ

ソフトウェアやアプリがArm上で作動。  
ArmのプロセッサIPプロバイダーとしての将来性を裏付け

A collage of four images: a man in a suit looking at a smartphone, a car's interior with a glowing blue steering wheel, a man in a plaid shirt pointing at a server rack, and a night view of a city skyline with glowing blue dots.

Armベースの製品はあらゆるところに

# 2,500 億個

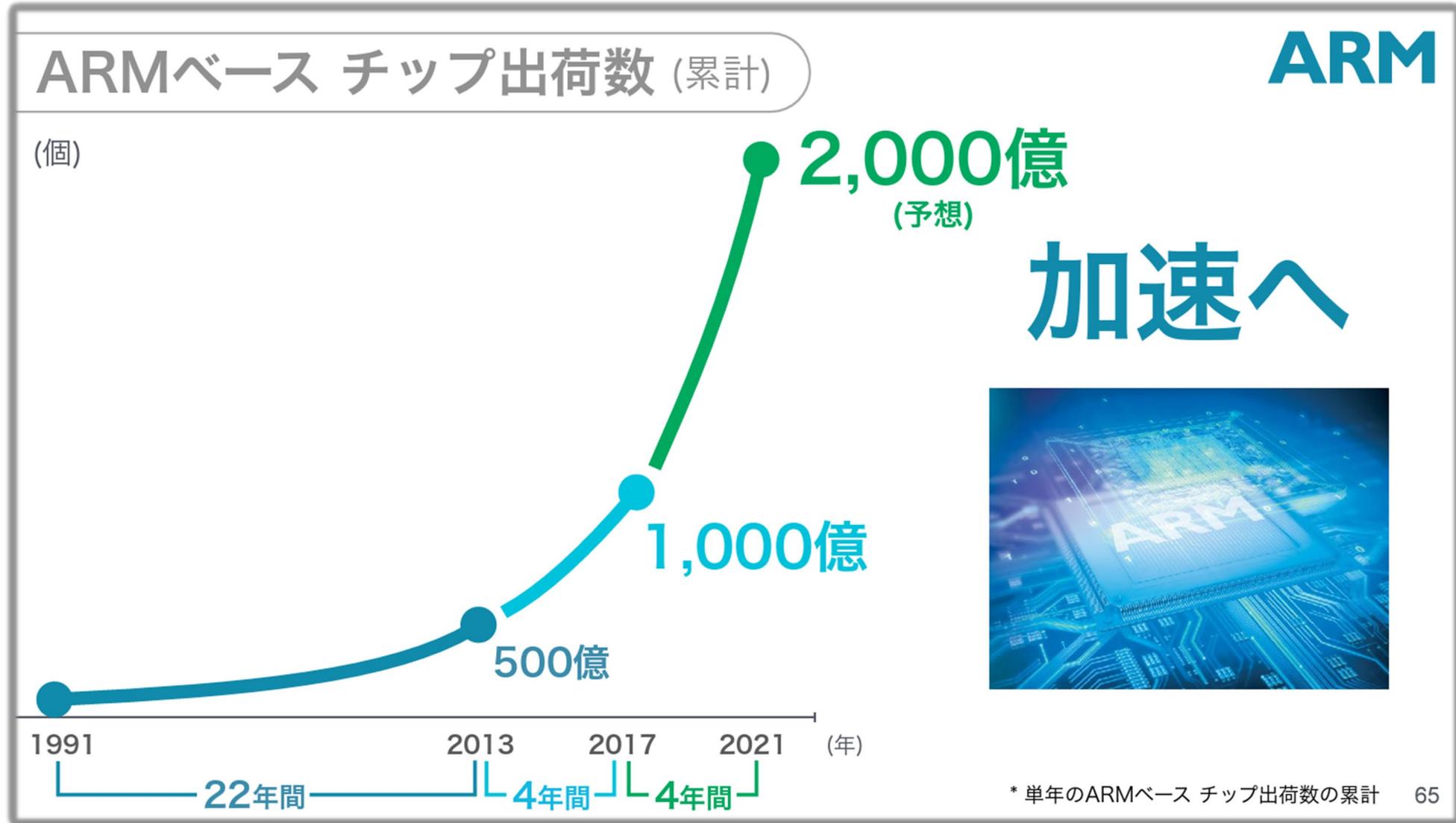
Armベースチップ  
累計出荷数 ('22年9月まで)

2,500 億個

Armベースチップ累計出荷数  
(’22年9月まで)



# 2017年3月期 決算説明会資料



過去最高

80 億個

Armベースチップ  
四半期出荷数 ('22年7月~9月)

1/3 超

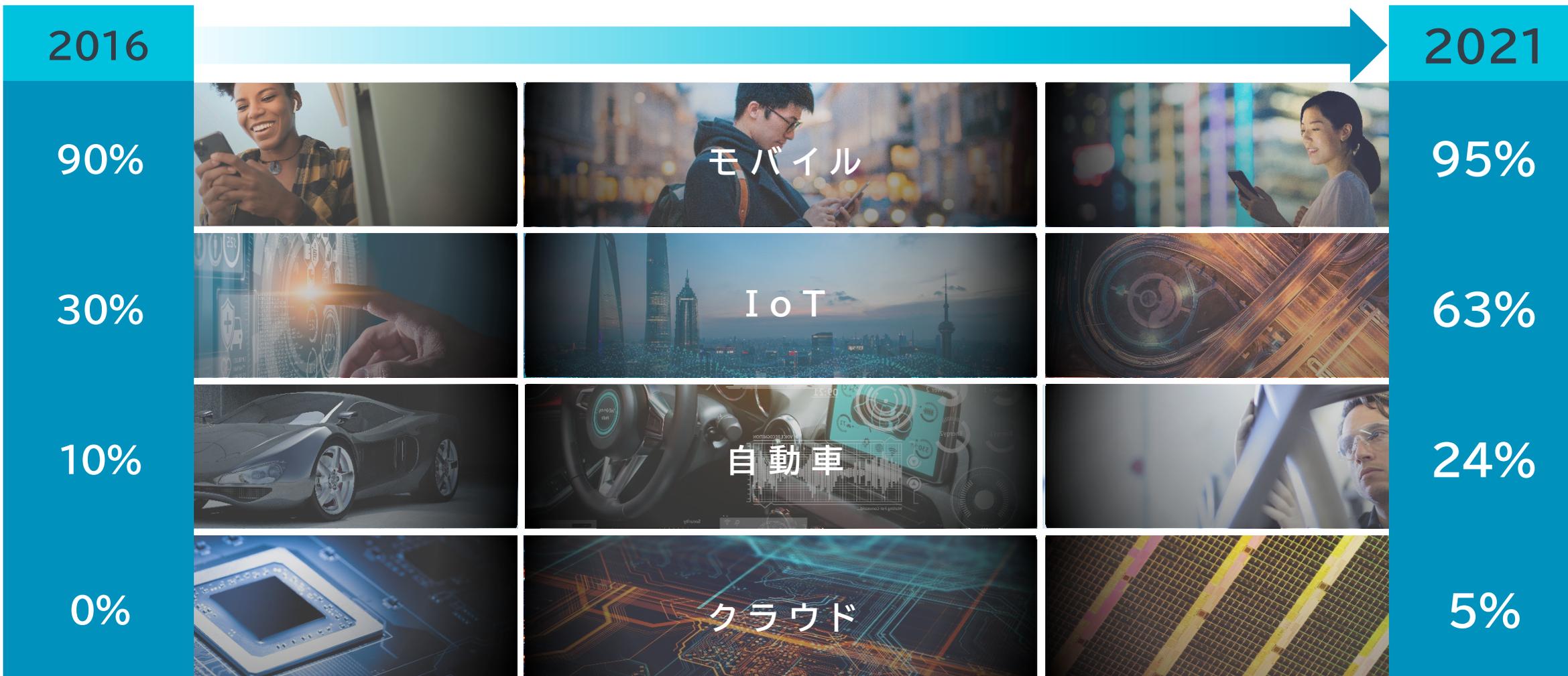
プロセッサ搭載チップのうち  
Armベースの割合

約70%

世界の人口のうち、  
Armテクノロジーを  
毎日使う人の割合

# マーケットシェアを拡大

arm



# 製品は複雑化し、高性能に



## ハイエンドスマートフォン



約4億2,000万台出荷/年  
約50個の半導体/台



## ゲーム機



約5,000万台出荷/年  
約100個の半導体/台



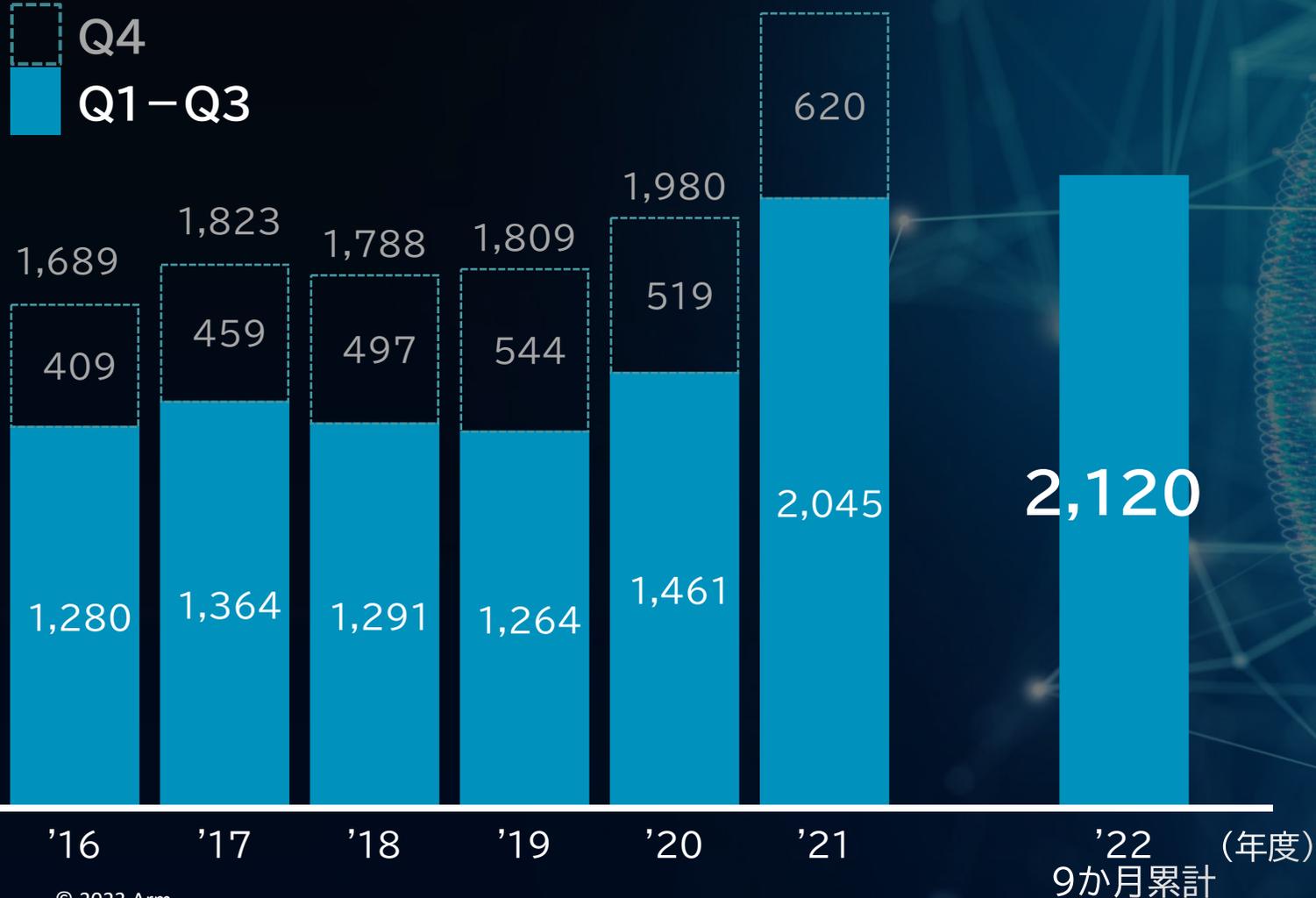
## 高性能自動車



約1,000万台出荷/年  
約1万個の半導体/台

## 売上高

(\$M)



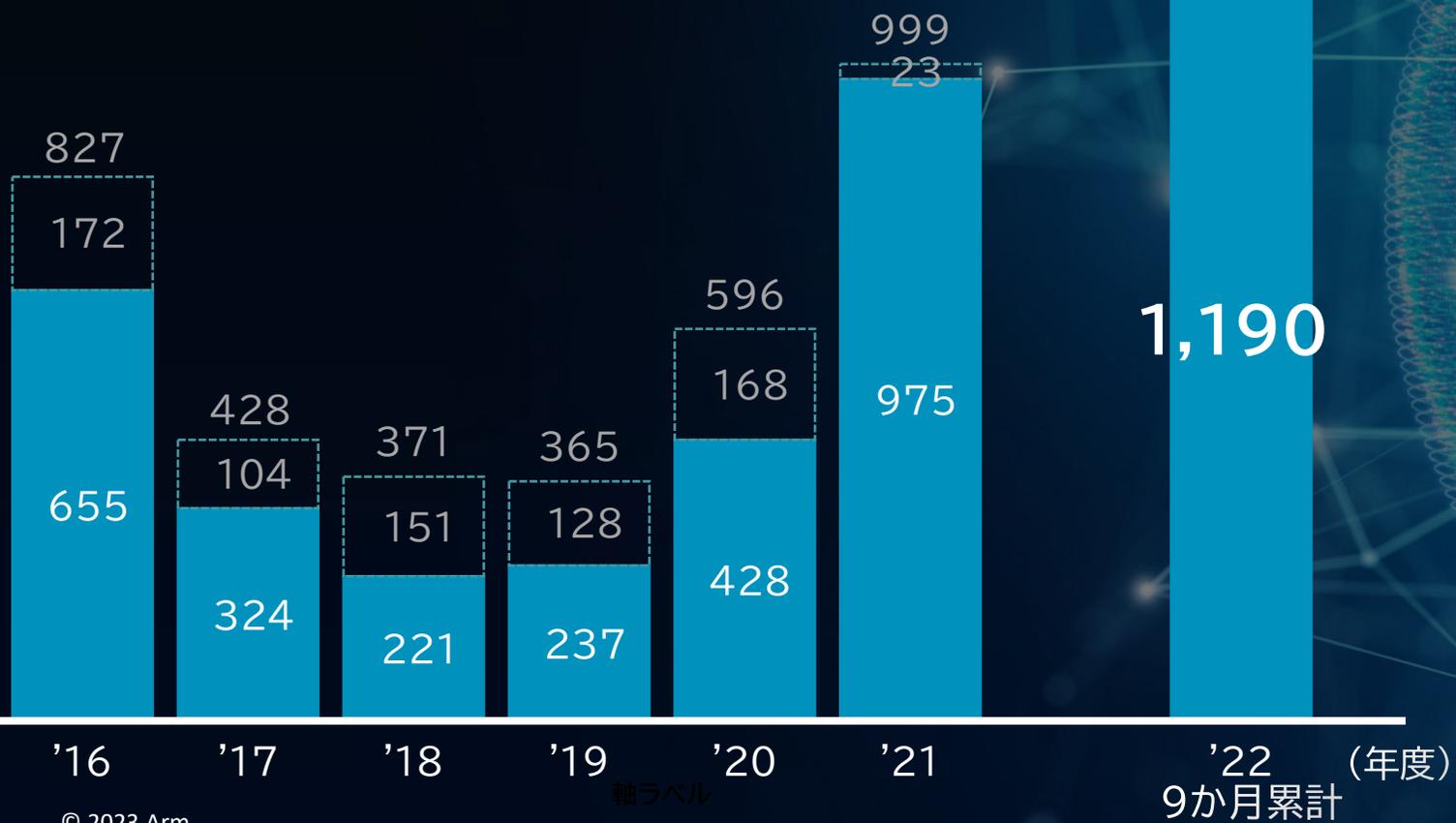
年平均成長率  
(直近3年間の9か月累計実績)

19%

# 調整後EBITDA

(\$M)

Q4  
Q1-Q3

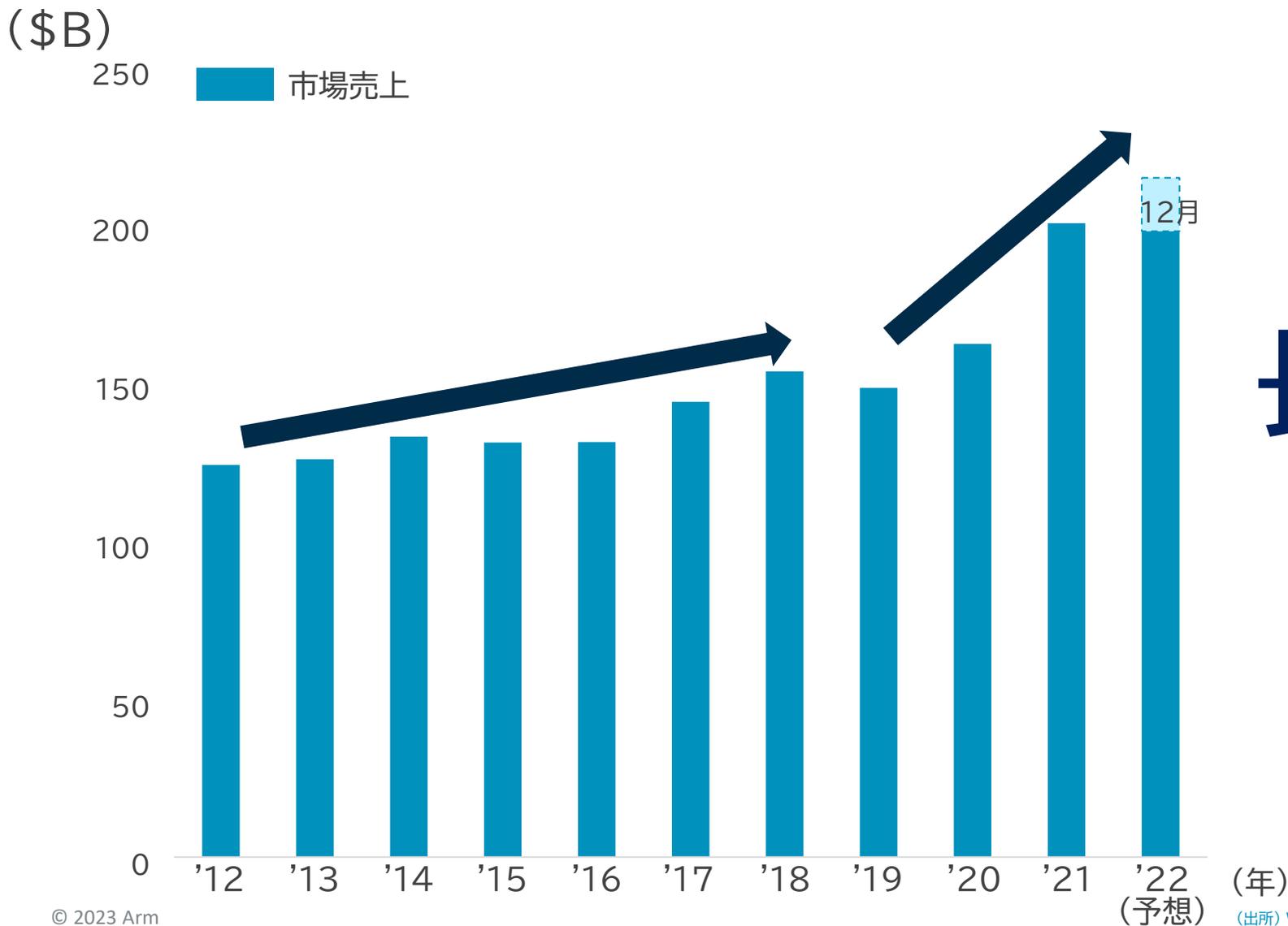


年平均成長率  
(直近3年間の9か月累計実績)

71%

(出所) Arm  
 '18年度~'19年度: ISG事業に係る直接費用を除く。  
 '20年度~'21年度: ISG事業に係る直接費用及びISG事業に関連する本社費用を除く。  
 ISG事業: Internet-of-Things Services Group; IoTIに関連するサービスグループ  
 IFRSを基準としているが、完全に準拠しているとは限らない。  
 全ての数字は未監査であり、方向性を示す目的としてのみ情報を提供。  
 全ての数字は暫定的なものであり、変更になる可能性がある。  
 SBG, SVF1, SVF1のジェネラル・パートナー又はSBIAが情報の正確性を保証するものではなく、  
 情報を更新する義務を負わない。

# 半導体市場規模



## 長期的な成長

将来のデバイスはより多くのチップを搭載し  
Armのオポチュニティーは拡大

Armテクノロジーが  
未来のコンピューティングを定義

## Armの戦略

- 長期的な成長市場でのシェアを維持・拡大
- より高い価格設定を可能にする高度なIPの開発
- 新しい技術分野への投資
- 長期的な視野に立った持続可能なビジネスの構築

# Arm上場プラン

arm

arm

当社は2023年中のArm上場計画を継続  
市場環境を見極めながら準備を進展

# 財務戦略

# 財務戦略は不変

①財務方針の堅持

②あらゆる変化に  
対応できる  
柔軟かつ機動的な  
財務運営

# 財務方針の堅持

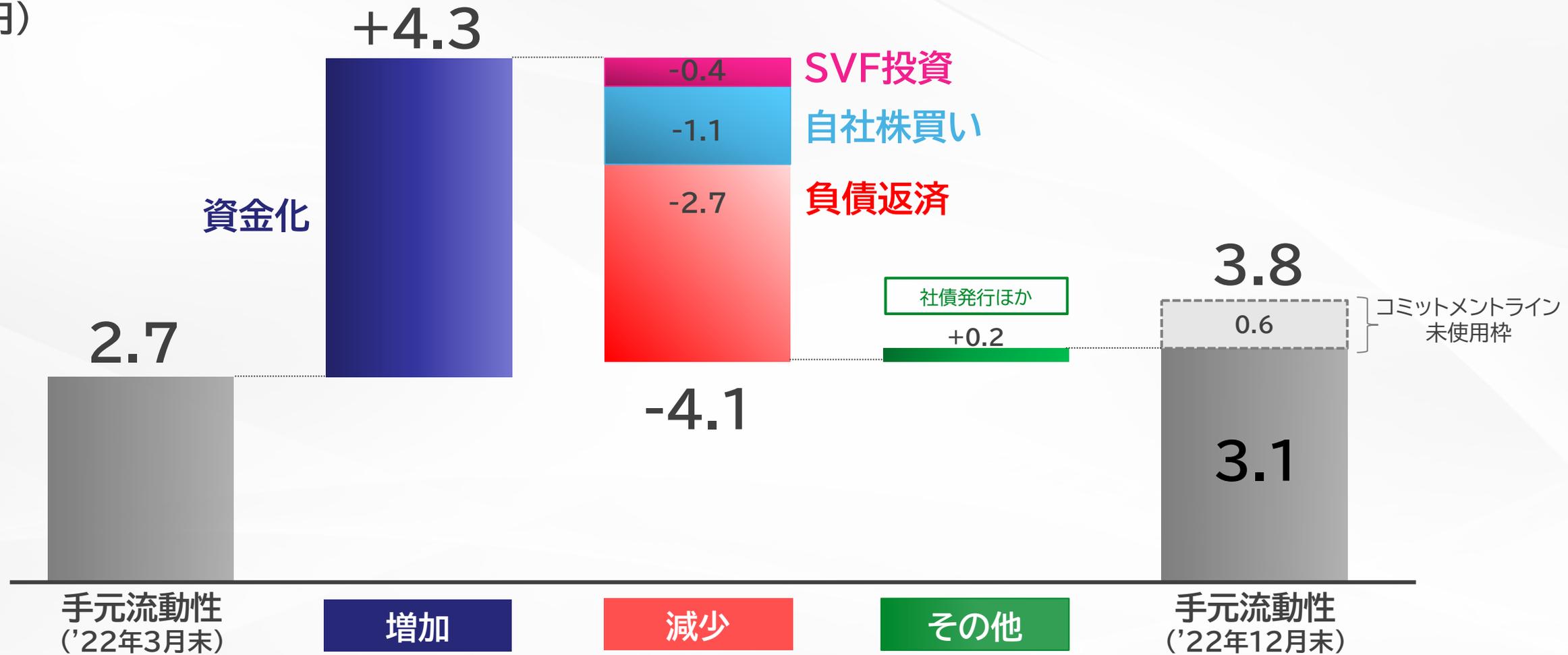
1. 通常時 LTV25%未満 で運用（異常時でも上限35%）

2. 少なくとも 2年分の社債償還資金 を保持

3. SVFや子会社から 継続的な配当収入 を確保

# 資金化と資本配分 ('22年度Q1-Q3)

(兆円)



各四半期の平均レート等により円換算  
 手元流動性: 現金及び現金同等物+流動資産に含まれる短期投資+コミットメントライン未使用枠。SBG単体ベース(SB Northstarを除く)  
 資金化: SVF1からの分配(+ \$1.8B)、SVF2からの分配(+ \$0.5B)、LatAmファンドからの分配(+ \$0.1B)、SB Northstarからの資金還流(+ \$0.9B)、アリババ株式を活用した株式先渡売買契約(+ \$24.4B)、アーム株式を活用したアセットバック・ファイナンスによる調達(+ \$1.4B)、Tモバイル株式売却(+ \$2.4B)、SoFi Technologies, Inc.株式売却(+ \$0.7B)  
 SVF投資: SVF1&2およびLatAmファンドへの拠出額合計(- \$2.8B)  
 自社株買い: 2021年11月8日および2022年8月8日取締役会決議に基づく自己株式の取得額(- ¥1,055.4B)  
 負債返済: SBGコミットメントライン返済(- \$4.5B)、SBGシニア・ローン返済(- ¥325.2B)、SBG社債償還による支出(- ¥658.9B)、アリババ株式を活用したマージン・ローン返済(- \$6.0B)、Tモバイル株式を活用したマージン・ローン返済(- \$2.1B)、アーム株式を活用したアセットバック・ファイナンス返済(- \$0.9B)

# 手元流動性

(兆円)

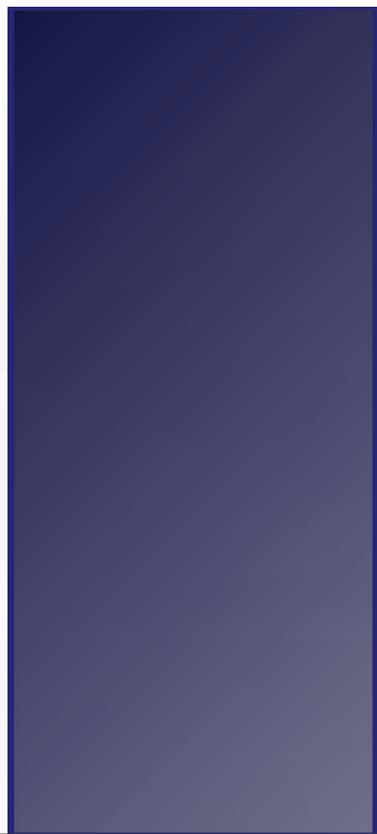


手元流動性

社債償還予定

# 自社株買いの実績

1兆円



'21年11月9日  
~'22年10月17日

4,000億円



'22年10月18日  
~'22年11月10日

合計1.4兆円  
取得完了

1兆円:'21年11月8日に決議した最大1兆円の自己株式取得枠。'22年10月17日付で全額取得完了  
4,000億円:'22年8月8日に決議した最大4,000億円の自己株式取得枠。'22年11月10日付で全額取得完了  
上記の両取締役会決議に基づき取得した自己株式の総数と同数の自己株式252,958,500株(消却前の発行済株式総数に対する割合14.68%)を'23年3月末までに消却予定

# キャピタルアロケーション

## バランスを常に考慮

株主還元\*

財務方針  
(財務の安全性)

新規投資

\* NAVディスカウント水準も考慮事項



情報革命の資本家



SVF



arm  
生態系



SVF

arm  
生態系

情報革命で人々を幸せに



# Appendix

# NAV・LTVの定義及び算出方法（'22年9月末時点）

## 1. NAV (Net Asset Value: 時価純資産)

- NAV = 保有株式 - 純負債

## 2. 保有株式(保有株式価値、アセットバック・ファイナンス調整後)

- Alibaba (アリババ): SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数に同証券の株価を乗じた金額から、アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約(フロア契約・カラー契約・フォワード契約・コールスプレッド)のうち、未決済分の満期決済金額(同社株価で算出)の合計額を控除して算出
- SBKK: SBGの保有株式数に同社株式の株価を乗じ、同社株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額等を控除して算出
- SVF1: SVF1の保有資産価値相当に対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
- SVF2: SVF2の保有資産価値相当に対するSBGの持分等
- LatAm Funds: LatAm Fundsの保有資産価値相当に対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額
- Tモバイル: 下記の(a)~(c)の合計から(d)及び(e)を控除して算出
  - (a) SBGの保有株式数に同社株式の株価を乗じた価値(ドイツテレコムが保有する株式購入オプションの対象となる株式数('22年9月末時点: 34,971,809株)を含む)
  - (b) 一定の条件下でSBGがTモバイル株式(48,751,557株)を無償で取得できる権利(条件付対価)の公正価値
  - (c) '20年6月にTモバイルによる現金強制転換証券(Cash Mandatory Exchangeable Trust Securities)を発行する信託へのTモバイル株式の売却取引に関連して受領した、一定の条件下でSBGの子会社がTモバイル株式を取得できる権利の公正価値
  - (d) ドイツテレコムが保有する未行使の株式購入オプションに係るデリバティブ金融負債の金額
  - (e) Tモバイル株式を活用した先渡売買契約(カラー契約)の満期決済金額(同社株価で算出)
- ドイツテレコム: SBGの保有株式数に同社株価を乗じ、同社株式を活用したカラー取引の満期決済金額を控除して算出
- Arm(アーム): SVF1において算出されたアームの全株式の公正価値に基づくSBG持分(発行済株式の75.01%)の公正価値から、SBGが保有する同社株式を活用したアセットバック・ファイナンスによる借入の負債残高相当額を控除して算出
- その他: 以下(f)~(h)の合計
  - (f) 上場株式: SBGの保有株式数に各上場株式の株価を乗じて算出
  - (g) 非上場株式: SBGが保有する未上場株式等の公正価値(公正価値で測定していない株式等はSBGのBS上の簿価)に基づいて算出
  - (h) SB Northstar: SB NorthstarのNAVに対するSBGの持分に、SBGが保有するNVIDIA Corporation株式数に同社株価を乗じた価値を加算して算出

## 3. 純負債 (アセットバック・ファイナンス調整後)

- 純負債 = SBGの純有利子負債
- SBGの純有利子負債 = 連結純有利子負債 - 独立採算子会社等の純有利子負債 - その他調整
- 連結純有利子負債にはPayPay銀行株式会社の銀行業の預金及び手元流動性を含まない
- 独立採算子会社等の純有利子負債: SBKK(Zホールディングス株式会社をはじめとする子会社を含む)、SVF1、SVF2、LatAm Funds、アーム、PayPay株式会社等の独立採算子会社、ならびにSB Northstarの有利子負債合計から現預金等合計を減算
- その他調整: 以下の(i)~(q)の調整額の合計
  - (i) '16年9月発行 円建てハイブリッド債: 連結会計上、全額が負債計上されているため50%を有利子負債から控除
  - (j) '17年7月発行 ドル建てハイブリッド債: 連結会計上、全額が資本計上されているため50%を有利子負債に加算
  - (k) '17年11月実行 円建てハイブリッドローン: 連結会計上、全額が負債計上されているため50%を有利子負債から控除
  - (l) '21年2月及び6月発行 円建てハイブリッド債: 連結会計上、全額が負債計上されているため50%を有利子負債から控除
  - (m) アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約(フロア契約・カラー契約・フォワード契約)に係る株式先渡契約金融負債を控除
  - (n) SBKK株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額等を控除
  - (o) Tモバイル株式を活用した先渡売買契約(カラー契約)に係る株式先渡契約金融負債を控除
  - (p) ドイツテレコム株式を活用したカラー取引に係る負債残高相当額を控除
  - (q) アーム株式を活用したアセットバック・ファイナンスによる借入の負債残高相当額を控除

## 4. LTV (純負債/保有株式)

- LTV = 純負債 ÷ 保有株式

## 5. その他

- 株価: '22年9月30日終値
- 為替: 1ドル = 144.81円

- SBG = ソフトバンクグループ株式会社、アリババ = Alibaba Group Holding Limited、SBKK = ソフトバンク株式会社、SVF1 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド1、SVF2 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド2、LatAm Funds = ソフトバンク・ラテンアメリカ・ファンド、Tモバイル = T-Mobile US, Inc.、ドイツテレコム = Deutsche Telekom AG、アーム = Arm Limited
- 別段記載のない限り税金考慮前
- 当社の想定であり、SBGの普通株式を含むいかなる有価証券の価値や投資判断を示唆するものではありません。

# NAV・LTVの定義及び算出方法（'22年12月末時点）

## 1. NAV (Net Asset Value: 時価純資産)

- NAV = 保有株式 - 純負債

## 2. 保有株式(保有株式価値、アセットバック・ファイナンス調整後)

- Alibaba (アリババ): SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数に同証券の株価を乗じた金額から、アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約(フロア契約・カラー契約・フォワード契約・コールスプレッド)のうち、未決済分の満期決済金額(同社株価で算出)の合計額を控除して算出
- SBKK: SBGの保有株式数に同社株式の株価を乗じ、同社株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額等を控除して算出
- SVF1: SVF1の保有資産価値相当に対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
- SVF2: SVF2の保有資産価値相当に対するSBGの持分等
- LatAm Funds: LatAm Fundsの保有資産価値相当に対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額
- Tモバイル: 下記の(a)~(c)の合計から(d)及び(e)を控除して算出
  - (a) SBGの保有株式数に同社株式の株価を乗じた価値(ドイツテレコムが保有する株式購入オプションの対象となる株式数('22年12月末時点: 34,971,809株)を含む)
  - (b) 一定の条件下でSBGがTモバイル株式(48,751,557株)を無償で取得できる権利(条件付対価)の公正価値
  - (c) '20年6月にTモバイルによる現金強制転換証券(Cash Mandatory Exchangeable Trust Securities)を発行する信託へのTモバイル株式の売却取引に関連して受領した、一定の条件下でSBGの子会社がTモバイル株式を取得できる権利の公正価値
  - (d) ドイツテレコムが保有する未行使の株式購入オプションに係るデリバティブ金融負債の金額
  - (e) Tモバイル株式を活用した先渡売買契約(カラー契約)の満期決済金額(同社株価で算出)
- ドイツテレコム: SBGの保有株式数に同社株価を乗じ、同社株式を活用したカラー取引の満期決済金額を控除して算出
- Arm(アーム): SVF1において算出されたアームの全株式の公正価値に基づくSBG持分の公正価値から、SBGが保有する同社株式を活用したアセットバック・ファイナンスによる借入の負債残高相当額を控除して算出(希薄化前の発行済株式に対するSBGの持分: 75.01%)
- その他: 以下(f)~(h)の合計
  - (f) 上場株式: SBGの保有株式数に各上場株式の株価を乗じて算出
  - (g) 非上場株式: SBGが保有する未上場株式等の公正価値(公正価値で測定していない株式等はSBGのBS上の簿価)に基づいて算出
  - (h) SB Northstar: SB NorthstarのNAVに対するSBGの持分に、SBGが保有するNVIDIA Corporation株式数に同社株価を乗じた価値を加算して算出

## 3. 純負債 (アセットバック・ファイナンス調整後)

- 純負債 = SBGの純有利子負債
- SBGの純有利子負債 = 連結純有利子負債 - 独立採算子会社等の純有利子負債 - その他調整
- 連結純有利子負債にはPayPay銀行株式会社の銀行業の預金及び手元流動性を含まない
- 独立採算子会社等の純有利子負債: SBKK(Zホールディングス株式会社及びPayPay株式会社をはじめとする子会社を含む)、SVF1、SVF2、LatAm Funds及びアーム等の独立採算子会社、ならびにSB Northstarの有利子負債合計から現預金等合計を減算
- その他調整: 以下の(i)~(q)の調整額の合計
  - (i) '16年9月発行 円建てハイブリッド債: 連結会計上、全額が負債計上されているため50%を有利子負債から控除
  - (j) '17年7月発行 ドル建てハイブリッド債: 連結会計上、全額が資本計上されているため50%を有利子負債に加算
  - (k) '17年11月実行 円建てハイブリッドローン: 連結会計上、全額が負債計上されているため50%を有利子負債から控除
  - (l) '21年2月及び6月発行 円建てハイブリッド債: 連結会計上、全額が負債計上されているため50%を有利子負債から控除
  - (m) アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約(フロア契約・カラー契約・フォワード契約)に係る株式先渡契約金融負債を控除
  - (n) SBKK株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額等を控除
  - (o) Tモバイル株式を活用した先渡売買契約(カラー契約)に係る株式先渡契約金融負債を控除
  - (p) ドイツテレコム株式を活用したカラー取引に係る負債残高相当額を控除
  - (q) アーム株式を活用したアセットバック・ファイナンスによる借入の負債残高相当額を控除

## 4. LTV (純負債/保有株式)

- LTV = 純負債 ÷ 保有株式

## 5. その他

- 株価: '22年12月31日終値
- 為替: 1ドル = 132.70円

- SBG = ソフトバンクグループ株式会社、アリババ = Alibaba Group Holding Limited、SBKK = ソフトバンク株式会社、SVF1 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド1、SVF2 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド2、LatAm Funds = ソフトバンク・ラテンアメリカ・ファンド、Tモバイル = T-Mobile US, Inc.、ドイツテレコム = Deutsche Telekom AG、アーム = Arm Limited
- 別段記載のない限り税金考慮前
- 当社の想定であり、SBGの普通株式を含むいかなる有価証券の価値や投資判断を示唆するものではありません。

# SVF1 公開株投資先 ('22年12月末時点)

(\$M)	(a) 投資額 *1	(b) 時価 *2 (ダブ)	(c) = (b) - (a) 損益 (ダブ)	(d) = (b) / (a) 倍率 *3	
	Coupang	2,729	9,652	6,923	3.5x
	Doordash	680	7,025	6,345	10.3x
全持分売却済	NVIDIA	2,878	5,813	2,936	2.0x
全持分売却済	Guardant Health	308	2,665	2,358	8.7x
全持分売却済	Uber	7,666	9,215	1,549	1.2x
全持分売却済	Slack	334	1,018	684	3.0x
全持分売却済	Ping An Good Doctor	400	828	428	2.1x
	Vir Biotechnology	199	587	388	3.0x
全持分売却済	Opendoor	450	824	374	1.8x
全持分売却済	10x Genomics	31	338	307	10.9x
	PolicyBazaar	199	502	303	2.5x
	Delhivery	397	584	187	1.5x
	Relay Therapeutics	300	417	117	1.4x
	Energy Vault	60	58	-2	1.0x
	SenseTime	1,429	1,344	-85	0.9x
	OneConnect	100	5	-95	0.05x
	Zomato	309	206	-103	0.7x
	Full Truck Alliance	1,700	1,576	-124	0.9x
	Roivant *4	919	780	-139	0.8x
全持分売却済	ZhongAn	550	400	-150	0.7x
	GoTo*5	841	603	-239	0.7x
	Aurora Innovation	333	48	-285	0.1x
	Auto1	741	418	-323	0.6x
	Getaround	348	14	-334	0.04x
	Ginkgo Bioworks	404	41	-363	0.1x
	Paytm	1,600	962	-638	0.6x
	Grab	2,993	2,251	-742	0.8x
	Compass	1,082	308	-774	0.3x
	View	1,175	64	-1,111	0.1x
	WeWork *6	3,468	131	-3,338	0.04x
	DiDi	12,073	3,080	-8,993	0.3x
(A)	公開株式 合計 (ダブ) *7	\$46,697 (6.2兆円)	\$51,756 (6.9兆円)	+\$5,059 (+0.7兆円)	1.1x
(B)	未公開株式等	\$40,926	\$46,899	\$5,974	
(A)+(B)	SVF1 合計(SBG目線)	\$87,623	\$98,655	\$11,033	

1. 投資額: 投資関連の資金調達を含む投資目的の全ての外部キャッシュフローと投資関連のヘッジに支払われたオプション料(純額)の合計  
2. 時価(ダブ): 投資とそれに関連するヘッジから生じる全ての外部キャッシュフローと'22年12月末時点における未実現有価証券の公正価値の合計。税金、投資関連の資金調達及びその他のファンド関連の負債等考慮前  
3. 倍率: Gross multiples of invested capital (Gross MOIC)。時価(ダブ)を投資額で除して算出。純額ベースの銘柄別の投資成果は、報酬及び費用の配分について仮定を置いて算出するため掲載していない。  
4. Roivant: SVF1の公開株の投資額からはRoivantの上場前('20年3月)に実現した\$116mmが除かれている。  
5. GoTo: SVF1の公開株の投資額には、Gojekとの合併前のTokopediaへの投資を反映しており、GoTo上場前に実現した\$7mmが除かれている。  
6. WeWork: SVF1の公開株の投資額(\$3,468mm)には、WeWork Asia Holding Company B.V.(“WeWork Asia”)への投資額(\$400mm)が含まれている。WeWork Asia株式は1株当たり\$11.60で'20年4月にWeWork優先株式に交換された。  
7. 公開株式 合計(ダブ): 公開株式には店頭市場で取引されているDiDiへの投資を含む。  
SBG目線: ソフトバンク・ビジョン・ファンド事業のセグメントベース。NVIDIAのヘッジ取引に係るデリバティブ損益等を含む。SBGからSVF1への移管が決定されていたものの実行されなかった投資について、移管の取りやめを決定するまでの期間に発生した未実現評価損益は含まない。  
累計投資パフォーマンスを純額で表示  
SVF1に対するSBGからの累計支払額(純額)(Net-Paid-in capital) = \$27.7bn。SBGに帰属する価値合計(Total Value) = \$28.9bn。詳細は「2023年3月期 第3四半期決算 投資家向け説明会資料 SoftBank Vision & LatAm Funds」を参照

# SVF2 公開株投資先 ('22年12月末時点)

(\$M)	(a) 投資額 <sup>*1</sup>	(b) 時価 <sup>*2</sup> (グロス)	(c) = (b) - (a) 損益 (グロス)	(d) = (b) / (a) 倍率 <sup>*3</sup>
全持分売却済				
Beike (KE Holdings)	1,350	2,497	1,147	1.8x
Symbotic	200	239	39	1.2x
Berkshire Grey	115	40	-76	0.3x
Qualtrics	24	8	-16	0.3x
Pear Therapeutics	46	14	-32	0.3x
IonQ	61	21	-39	0.3x
AInnovation	126	117	-8	0.9x
Full Truck Alliance	250	185	-65	0.7x
Zhangmen	105	0.2	-105	0.002x
Exscientia	284	101	-183	0.4x
Seer	205	30	-175	0.1x
Dingdong	325	60	-265	0.2x
JD Logistics	601	225	-376	0.4x
AutoStore	2,800	2,389	-411	0.9x
WeWork	2,545	529	-2,015	0.2x
<b>(A) 公開株式 合計 (グロス) <sup>*4</sup></b>	<b>\$9,036</b> <b>(1.2兆円)</b>	<b>\$6,455</b> <b>(0.9兆円)</b>	<b>-\$2,581</b> <b>(-0.3兆円)</b>	<b>0.7x</b>
<b>(B) 未公開株式等</b>	<b>\$40,845</b>	<b>\$26,693</b>	<b>-\$14,152</b>	
<b>(A)+(B) SVF2 合計(SBG目線)</b>	<b>\$49,881</b>	<b>\$33,148</b>	<b>-\$16,733</b>	

1. 投資額: 投資関連の資金調達を含む投資目的の全ての外部キャッシュフローと投資関連のヘッジに支払われたオプション料 (純額) の合計

2. 時価(グロス): 投資とそれに関連するヘッジから生じる全ての外部キャッシュフローと'22年12月末時点における未実現有価証券の公正価値の合計。税金、投資関連の資金調達及びその他のファンド関連の負債等考慮前

3. 倍率: Gross multiples of invested capital (Gross MOIC)。時価(グロス)を投資額で除して算出。純額ベースの銘柄別の投資成果は、報酬及び費用の配分について仮定を置いて算出する必要があるため掲載していない。

4. 公開株式 合計(グロス): 公開株式には店頭市場で取引されているZhangmenへの投資を含む。

SBG目線: ソフトバンク・ビジョン・ファンド事業のセグメントベース。累計投資パフォーマンスを純額で表示

SVF2に対するSBGからの累計支払額 (純額) (Net-Paid-in capital) = \$49.1bn、SBGに帰属する価値合計 (Total Value) = \$33.1bn。詳細は「2023年3月期 第3四半期決算 投資家向け説明会資料 SoftBank Vision & LatAm Funds」を参照